

高知女子大学年報

平成 1 8 年度



高知女子大学

目 次

1 概 要	
1 教育目標及び高知女子大学のめざすもの	1
2 名称及び所在地	1
2 沿 革	
1 概 要	2
2 沿 革 図	2
3 主要年表	3
4 名誉教授	5
3 組織及び教職員	
1 組 織	6
2 教 員	8
3 事務局職員	2 4
4 教育及び研究	
1 学部・大学院の概要	2 5
2 教育科目及び受講者の状況	2 7
3 教員免許及び国家資格の状況	3 9
4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況	4 0
5 学部別 F D 活動実施状況	4 6
5 学 生	
1 行事実績	4 7
2 入学の状況	4 8
3 学生数	5 7
4 休学・退学・長期履修者及び単位互換の状況	5 8
5 課外活動	6 0
6 保健管理状況	6 1
7 授業料等の状況	6 2
8 日本学生支援機構奨学金受給状況	6 3
9 卒業（修了）者の状況	6 5
6 総合情報センター	6 6
7 国際交流	6 7
8 開かれた大学	
1 公開講座等実施状況	6 9
2 学会その他の委員等の状況	7 1
3 刊行物、パンフレット等作成状況	7 6
9 J I C A プロジェクト	7 7
10 財 務	
1 収入・支出の状況	7 9
2 外部資金の状況	8 1
3 学長特別粋助成事業の状況	9 1
11 キャンパス	
1 土 地	9 2
2 建 物	9 2

（※ 教員の研究や社会的な活動につきましてはここでは省略しています。）

1 概 要

1 教育目標及び高知女子大学のめざすもの

教 育 目 標

本学は、教育基本法に基づき、広く知識を授け、専門の学芸を教授研究し、もって人格の向上を図るとともに、平和と文化の発展及び福祉の増進に貢献しうる女性を育成し、併せて地域社会の向上に寄与することを目的とする。

高知女子大学のめざすもの

50年にわたり一貫して女子教育に貢献してきた伝統を尊重しながら、新しい時代の要請にこたえ得る質的な変革を行い、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して、次の教育を重視する。

21世紀における
新しい価値観の創造

地域文化の創造

豊かな
人間性の涵養

2 名称及び所在地

名 称	所 在 地	TEL・FAX
生活科学部	<永国寺キャンパス> 〒780-8515 高知市永国寺町 5 番 15 号	Tel 088-873-2156 (代表) Fax 088-873-3934
文化学部		
大学院人間生活学研究科 (生活科学領域、文化領域)		
大学院健康生活科学研究科 (生活科学領域)		
事務局		
附属図書館本館	<池キャンパス> 〒781-0111 高知市池 2751 番地 1	Tel 088-847-8700 (代表) Fax 088-847-8670
看護学部		
社会福祉学部		
大学院看護学研究科		
大学院人間生活学研究科 (社会福祉領域)		
大学院健康生活科学研究科 (看護学領域、社会福祉学領域)		
事務局池事務室		
附属図書館池図書室		

2 沿革

1 概要

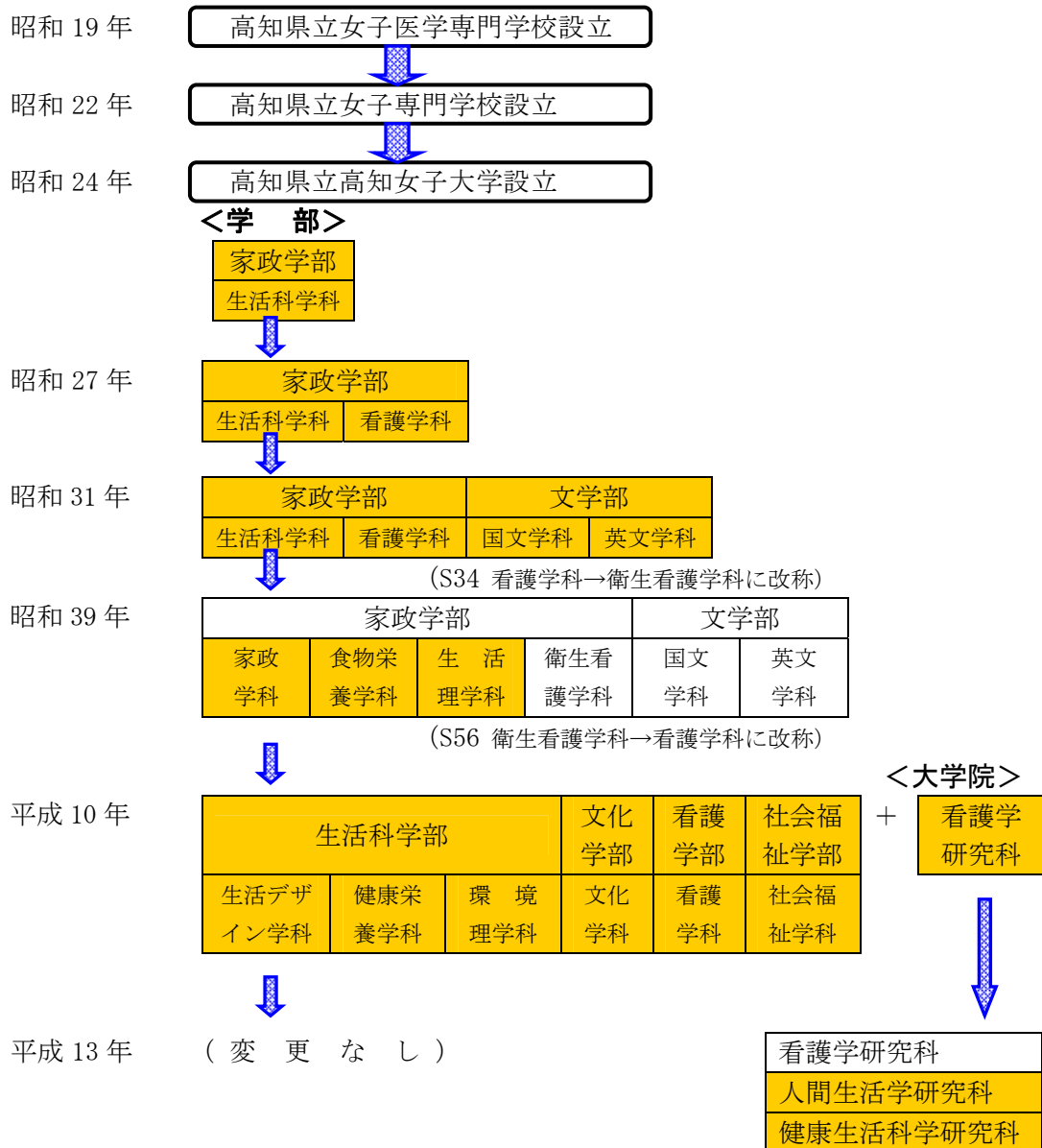
高知女子大学は、昭和22年設立の高知県立女子専門学校を母体として、同24年2月に文部省の設立認可を受け、家政学部生活科学科の単科大学として開学した。

その後、昭和31年に文学部を新設して2学部となった。

平成10年4月には、21世紀を展望し、教育文化の拠点として地域とともに発展する大学を目指して大規模な改組を行い、生活科学部・文化学部・看護学部・社会福祉学部の4学部6学科体制となるとともに、大学院看護学研究科を新設した。

また、平成13年には、大学院に人間生活学研究科及び健康生活科学研究科を増設し、現在に至っている。

2 沿革図



3 主要年表

昭和19年12月29日	高知県立女子医学専門学校設立認可
昭和20年 8月 8日	医学専門学校開学式及び入学式
昭和22年 3月31日	高知県立女子専門学校設立認可 (県議会で2月25日女子医学専門学校廃止、女子専門学校設置の決議)
昭和24年 2月21日	昭和22年創立の県立女子専門学校を母体とし、県立高知女子大学(家政学部生活科学科)設立認可
昭和24年 4月 1日	初代学長岡本重雄就任
昭和25年 4月 1日	家政学部生活科学科を栄養士養成施設として指定
昭和26年 3月31日	教職課程を設置、中学校・高等学校教諭(家庭)免許状授与資格を取得させるための課程として認定
昭和27年 2月20日	家政学部看護学科増設認可
昭和27年 3月18日	学長岡本重雄退職、教授福田俊治学長事務取扱に就任
昭和27年 9月22日	看護婦学校として指定
昭和27年10月 1日	第二代学長志波清時就任
昭和29年 3月21日	学長病気のため教授中村慶三郎学長代理に就任
昭和29年 4月 1日	正規の課程及び聴講生の課程を中学校・高等学校教諭(理科、保健、家庭、英語)・養護教諭の免許状授与の資格を取得させるための課程として認定
昭和30年 3月29日	保健婦学校として指定
昭和30年 9月10日	第三代学長中村慶三郎就任
昭和31年 3月 1日	文学部(国文学科、英文学科)増設認可
昭和32年 4月 1日	正規の課程を中学校・高等学校教諭(国語)免許状授与資格を取得させるための課程として認定
昭和34年 4月 1日	家政学部看護学科を衛生看護学科に改称
昭和34年12月 1日	第四代学長紫藤貞一郎就任
昭和38年 8月 3日	学長紫藤貞一郎退職、教授田中亮学長事務取扱に就任
昭和39年 4月 1日	家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称
昭和39年 4月10日	第五代学長徳田弥就任
昭和41年 3月31日	附属図書館新館落成
昭和42年12月10日	家政学部実験棟新館落成
昭和43年 4月10日	第六代学長藤本薫喜就任
昭和43年10月15日	管理棟及び講義棟新館落成
昭和44年 9月10日	講堂兼体育館落成
昭和45年 4月 2日	第七代学長安中正哉就任

昭和46年	3月31日	学生寮落成 集団給食実習室落成
昭和46年	4月 1日	正規の課程及び聴講生の課程を高等学校教諭(看護)免許状授与資格を取得させるための課程として認定
昭和47年	3月31日	作法室落成
昭和48年	11月 7日	運動場完成
昭和55年	4月 2日	第八代学長岡崎正一就任
昭和55年	10月 7日	南学舎改築学生会館新築落成
昭和56年	4月 1日	家政学部衛生看護学科を看護学科に改称
昭和59年	4月 2日	第九代学長木原正雄就任
昭和62年	11月15日	情報処理施設設置
昭和63年	6月28日	附属図書館増改築落成
平成 2年	3月26日	聴講生の課程を中学校・高等学校教諭(国語)免許状授与資格を取得させるための課程として認定
平成 2年	3月27日	弓道場落成
平成 2年	4月 2日	第十代学長池川順子就任
平成 8年	4月 2日	第十一代学長成田十次郎就任
平成10年	3月31日	池校舎落成
平成10年	4月 1日	改 組 生活科学部(生活デザイン学科・健康栄養学科・環境理学科) 文化学部(文化学科) 看護学部(看護学科) 社会福祉学部(社会福祉学科) 大学院看護学研究科 高知女子大学保育短期大学部廃止
平成13年	4月 1日	大学院増設 大学院人間生活学研究科 大学院健康生活科学研究科
平成15年	1月22日	第十二代学長吉野公喜就任
平成15年	4月 1日	第十三代学長青山英康就任 管理栄養士養成施設として認定
平成16年	4月 1日	高等学校教諭(福祉)免許状資格取得の大学学部等の課程として認定
平成17年	4月 1日	栄養教諭免許状授与資格を取得させるための大学学部等の課程として認定

4 名 誉 教 授

現在までに名誉教授の称号を授与された方々は、46名である。

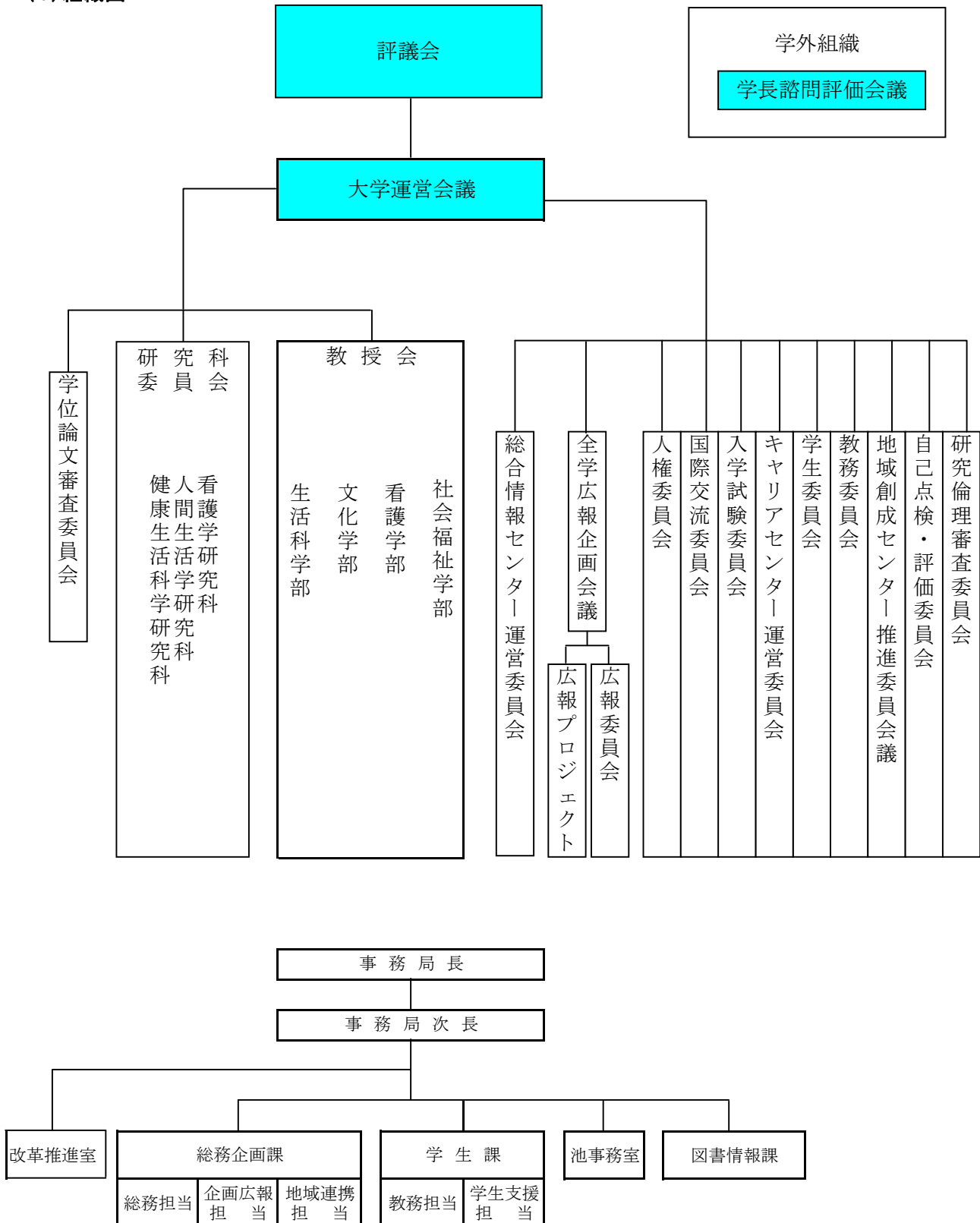
(平成19年3月31日現在)

	氏 名	学部(退職時)	授与年月日		氏 名	学部(退職時)	授与年月日
1	正 木 喬	文 学 部	昭和46. 7.12	26	岡 崎 芳 子	家政学部	平成 9. 4. 1
2	田 中 亮	家政学部	昭和48. 5. 7	27	宇 久 真 雄	文 学 部	平成 9. 4. 1
3	市 川 一 夫	家政学部	昭和48. 5. 7	28	徳 満 澄 雄	文 学 部	平成 9. 4. 1
4	笹 原 邦 彦	家政学部	昭和50. 5.19	29	中 山 喜代子	家政学部	平成10. 4. 1
5	山 崎 良 幸	文 学 部	昭和50. 5.19	30	金 谷 嘉 郎	文化学部	平成11. 4. 1
6	丸 山 和 雄	文 学 部	昭和50. 5.19	31	岡 本 健 児	文 学 部	平成12. 4. 1
7	和 井 兼 尾	家政学部	昭和51.12.20	32	橋 本 名 正	文化学部	平成12. 4. 1
8	深 瀬 亀 美	家政学部	昭和52. 6.27	33	秋 田 利 彦	生活科学部	平成12. 7. 7
9	三 宮 慎 助	文 学 部	昭和54. 4.19	34	濱 田 美 智	社会福祉学部	平成13. 4. 1
10	安 中 正 哉	学 長	昭和55. 4.10	35	藤 田 加 代	文化学部	平成14. 4. 1
11	山 本 壽 春	家政学部	昭和55. 4.10	36	坂 本 肇	文化学部	平成14. 4. 1
12	岩 貞 好	家政学部	昭和55. 4.10	37	寺 内 アヤ子	生活科学部	平成14. 4. 1
13	赤 沢 時 之	家政学部	昭和56. 4.10	38	山 崎 美恵子	看護学部	平成14. 4. 1
14	芝 田 不二男	家政学部	昭和59. 4.10	39	津 曲 裕 次	社会福祉学部	平成14. 4. 1
15	畠 中 幸	文 学 部	昭和60. 4.10	40	今 西 一 實	社会福祉学部	平成14. 4. 1
16	作 田 芳 次	家政学部	昭和62. 4.10	41	松 本 女 里	看護学部	平成15. 4. 1
17	平 見 嘉 彦	家政学部	平成 3. 5.10	42	生 田 勝 彦	文化学部	平成15. 4. 1
18	児 平 文 雄	家政学部	平成 4. 4. 1	43	阿 部 捷 男	生活科学部	平成16. 4. 1
19	松 崎 淳 子	家政学部	平成 4. 4. 1	44	原 絢 子	生活科学部	平成18. 4. 1
20	山 崎 智 子	家政学部	平成 6. 4. 1	45	山 口 俊 治	文化学部	平成18. 4. 1
21	市 村 金次郎	文 学 部	平成 7. 4. 1	46	松 田 真 一	社会福祉学部	平成18. 4. 1
22	矢 野 昭 典	文 学 部	平成 8. 4. 1				
23	藤 村 千 賀	家政学部	平成 8. 4. 1				
24	池 川 順 子	学 長	平成 8. 4. 1				
25	松 崎 沙和子	家政学部	平成 9. 4. 1				

3 組織及び教職員

1 組織(平成18年度)

(1)組織図



(2)教職員構成

(平成18年4月1日現在)

区 分	教 員							事 務 局 職 員				合 計
	学 長	副 学 長	教 授	助 教 授	講 師	助 手	計	局 長	事 務 職 員	そ の 他	計	
現 員	1	0	35	24	18	14	92	1	28	2	31	123
内 訳	学 長	1					1					
	生活科学部			11	6	5	8					
	文化学部			10	9	3						
	看護学部			10	5	7	5					
	社会福祉学部			4	4	3	1					

(3)平成18年度新規採用教員数

	教 授	助教授	講 師	助 手	計
生活科学部	1			2	3
文化学部	1				1
看護学部		1		1	2
社会福祉学部	1		1	1	3
計	3	1	1	4	9

(4)評 議 員

(平成18年4月10日現在)

	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
評 議 員	学 長	青山 英康	文化学部長	水谷 洋一	地域創成センター長	佐藤 厚
	副学長		看護学部長	野嶋佐由美	生活科学部教授	大村 誠
	学生部長	井本 正人	社会福祉学部長	前山 智	文化学部教授	青木 晴男
	総合情報センター長	山田 覚	大学院課程長 (健康生活科学研究科長)	荻沼 一男	看護学部教授	藤田 佐和
	教務部長	芝田不比人	看護学研究科長	鈴木志津枝	社会福祉学部教授	川崎 育郎
	生活科学部長	一色 健司	人間生活学研究科長	齊藤 信也	事務局長	樫谷 幸男

(運営会議メンバー)

2 教 員 (平成18年度)

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
学 長	青山 英康	1935	岡山大学大学院医学研究科 修了	医学博士 (岡山大学)		

【学 部】(平成18年度)

○生活科学部生活デザイン学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	井本 正人	1949	京都大学大学院経済学研究科 博士課程修了	経済学修士 (京都大学)	生活経営学, 生活経済学	・公共交通 ・生活者サイドからの地域づくり論 ・平等の経済学的研究
教 授	宇野 浩三	1952	北海道大学大学院工学研究科 博士課程単位取得退学	工学博士 (北海道大学)	住居学, 居住地計画論	・水切り瓦・土佐漆喰と左官職 ・住まい・まち・環境教育と協働教育 ・住宅・住様式の地域性 ・住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン ・住民主体のまちづくりとまちづくり学習
助教授	團野 哲也	1956	東京工業大学大学院理工学研究科 博士課程修了	工学博士 (東京工業大学)	被服材料学, 生活材料物理化学	・材料の分光学的キャラクターゼーション
助教授	三浦 要一	1965	大阪市立大学大学院生活科学研究科 博士課程修了	博士 (学術) (大阪市立大学)	住生活学, 住文化史	・伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 ・歴史的建造物の復元に関する調査研究 ・大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
助教授	松本 由香	1959	奈良女子大学大学院家政学研究科 修士課程修了	修士 (家政学) (奈良女子大学)	衣生活学, ユニバーサルデザイン基礎論	・東南アジアおよび日本の現代ファッションと伝統染織文化、ユニバーサルファッションに関する研究
講 師	川口 順子	1948	九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科 芸術工学専攻博士課程修了	博士 (芸術工学) (九州大学)	アパレルデザイン学	・高齢者の色彩弁別能力に関する研究 ・虹彩色の違いが色の見えに及ぼす影響について ・高齢者のための色彩計画・色彩のユニバーサルデザインに関する研究 ・植物の天然色素の染色性に関する研究
助 手	島崎 佐智代	1972	日本女子大学大学院家政学研究科 修士課程修了	修士 (家政学) (日本女子大学)	住居設計実習	・高知市戦災復興期都市計画の史的考察

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助 手	本村 めぐみ	1971	奈良女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了	博士（生活環境学） （奈良女子大学）	生活調査実習，情報科学演習	・現代における家族、親子及び個々人の「自立」と「自律」の発達推移を研究テーマにしています。近年”シティズンシップ”という概念を用いて、その発達推移のモデル化を試みています。

○生活科学部健康栄養学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	佐藤 厚	1948	徳島大学大学院栄養学研究科博士課程修了	保健学博士 （徳島大学）	生化学、健康栄養学	・血液透析に伴うアミロイドーシス発症の生化学的機序解明 ・ヒト唾液を用いた糖尿病早期発見のための指標開発 ・生活習慣病の発症予防のための行動変容に関する研究
教 授	川村 美笑子	1949	東北大学大学院農学研究科中途退学	農学博士 （東北大学）	健康科学論、応用栄養学	・食環境と脳機能 ・微量栄養素と栄養修飾 ・生活習慣病と食生活スタイル
教 授	笠原 賀子	1955	徳島大学大学院栄養学研究科博士課程修了	保健学博士 （徳島大学）	栄養教育論，学校栄養指導論	・栄養・食教育の方法論に関する研究 ・コーチングの栄養指導への応用に関する研究 ・子どもの栄養・食生活に関する研究 ・栄養士・管理栄養士の養成に関する基礎的研究
教 授	野並 芳樹	1951	山口大学医学部医学科卒業	医学博士 （山口大学）	臨床病態学	・各種病態と抗酸化力との関連の解明 ・一酸化窒素と血管内皮作用との関連の解明 ・免疫栄養（immunonutrition）に関する効能の解明・製品開発 ・食飲料品の抗酸化力に関する研究―材料比較、調理法の開発
教 授	渡邊 浩幸	1960	岩手大学大学院連合農学研究科修了	博士（農学） （岩手大学大学院）	食品学、食品機能学	・エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義 ・栄養機能探索 ・生体内メイラード反応
助教授	佐藤 之紀	1961	東京大学大学院博士課程中途退学	学術博士 （東京大学）	食品の物性と機能	・食品と水との関わり ・糖水溶液中の高分子間相互作用の解析
助教授	草間 かおる	1968	徳島大学大学院栄養学研究科博士後期課程単位取得修了	栄養学博士 （徳島大学）	公衆栄養学、地域保健	・栄養調査とその評価に関する研究 ・妊婦・授乳婦における栄養状況に関する研究 ・カンボジア・ベトナムにおける栄養評価法の検討
講 師	西岡 道子	1969	高知大学大学院農学研究科修士課程終了	修士（農学） （高知大学）	調理科学，給食経営管理実習	・日常的な水産物の摂食に関する研究 ・各種加熱調理における栄養成分の変化について ・魚肉に含まれるビタミンB ₁₂ の栄養評価

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講 師	松井 慶子	1943	相模女子大学短期大学部家政科栄養コース卒業		臨床栄養学	・栄養アセスメントの手法：体組成の評価：「高精度体性分析装置Body Composition Analyzer InBody720を用いた評価」 ・糖尿病治療と患者教育・療養指導介入の評価 ・慢性呼吸不全（COPD）患者の栄養管理：「食事と提供のあり方」・「フィッシャー比の評価」 ・食道下咽頭癌全摘手術・胃管つりあげ術・永久気管瘻術施行後、経口摂取ケアを希望する患者への「食事提供メニュー」・「食品の物性と食事形態」への対応
講 師	片山 一男	1954	佐伯栄養学校 管理栄養士特例養成科卒業		臨床栄養学実習	・肝疾患のアミノ酸バランスと血漿アミノ酸の食事による影響 ・アミノグラムによる健常者の血漿アミノ酸濃度パターンの解析 ・血漿アミノ酸・アミノ酸輸液・食事アミノ酸のそれぞれの評価と臨床栄養管理
講 師	高橋 孝子	1966	女子栄養大学大学院栄養学研究科修士課程終了	栄養学修士（女子栄養大学）	給食経営管理実習	・給食経営管理領域における管理栄養士の業務分析 ・メタボリックシンドローム予防のためのエネルギー摂取量の三食配分比率の検討
助 手	川村 真美	1955	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		生化学実験，解剖生理学実験	・抗酸化作用と生活習慣病について
助 手	彼末 富貴	1960	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習，食品学実験	・土佐の伝統食
助 手	佐野 尚美	1980	広島大学大学院理学研究科博士後期課程生物科学専攻修了	博士（理学）（広島大学）	栄養教育論実習、地域保健実習、地域保健臨地実習	・児童の生活習慣及び食生活に関する研究
助 手	小場 美穂	1978	川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科修士課程修了	修士（臨床栄養学）（川崎医療福祉大学）	給食経営管理実習	・給食従事者由来手指付着菌による二次汚染について ・給食経営管理実習における衛生教育の方法と指導効果について ・食品摂取頻度・摂取量における季節変動及び地域間変動について

○生活科学部環境理学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	一色 健司	1958	京都大学大学院理学研究科 博士課程単位取得退学	理学博士 (京都大学)	環境物質学概論, 環境 化学	・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明 ・微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教 授	大久保 茂男	1946	京都大学大学院理学研究科 博士課程修了	理学博士 (京都大学)	プログラミング通論, 計算機科学概論	・計算機によるエアリー構造の研究
教 授	荻沼 一男	1950	広島大学大学院理学研究科 博士課程退学	理学博士 (広島大学)	環境生物学, 生命史	・中国東南部から琉球孤島嶼系における植物の多様性形成機構の解析 ・土壌等の生育環境異質性に起因した植物の種内分化機構の解析 ・分子情報に基づくモクレン目とキントラノウ目の染色体進化の研究
教 授	谷本 真二	1950	大阪大学基礎工学部研究科 博士課程退学	工学博士 (大阪大学)	数理統計学, 線型代数 学	・ネットワーク上の感染の広がり、非線形なシステムの解析と最適化
教 授	大村 誠	1958	京都大学大学院理学研究科 博士課程単位取得退学	博士(理学) (京都大学)	地球変動学, 地学基礎 実験	・人工衛星/航空機搭載合成開口レーダ(SAR)の応用 ・地殻変動の観測的研究 ・地形情報の工学的応用
助教授	風間 裕	1959	北海道大学大学院理学研究 科博士課程修了	理学博士 (北海道大学)	物理学通論, 量子物理 学	・コンピュータを用いた物理学の教材開発 ・軽い核の構造解析
助 手	堀内 和美	1947	高知女子大学家政学部生活 理学科卒業		化学基礎実験, 生物学 基礎実験	・高知県宿毛市沖ノ島の植物 ・アザミ属およびヒヨドリバナ属の分類学的研究
助 手	名和 真一	1963	京都大学大学院理学研究科 博士課程修了	理学博士 (京都大学)	プログラミング実習, データ処理実習	・核力とQCD、計算機物理

○文化学部文化学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	青木 晴男	1949	早稲田大学大学院文学研究 科博士課程3年次退学	文学修士 (早稲田大学)	現代イギリス文学演習	環境文学の観点から、D.H. ロレンスの作品を自然と人間のかかわり方に焦点を当て、ロマン主義作家のそれと比較しつつその独自性を明らかにする。同時に、ポストコロニアリズムの視点からも同作家の特質を吟味する。
教 授	芋生 裕信	1953	関西学院大学大学院文学研究 科博士課程単位取得退学	文学修士 (関西学院大学)	日本近現代文学演習	小川国夫の研究、志賀直哉の研究

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	住友 弘一	1941	高知大学教育学部音楽教育学専攻	教育学士(高知大学)	音楽文化論（音楽療法）	音楽によるストレス回避の可能性と限界、心を癒す音楽療法、年長者のピアノ入門教授法
教 授	山根 久之助	1943	早稲田大学大学院英文学専攻	文学修士（早稲田大学）	近代イギリス文学演習	T. ハーディにおける「笑い」、賢治とハーディ
教 授	水谷 洋一	1944	神戸市外国語大学大学院修士課程修了	文学修士（神戸市外国語大学）	英語学	中世英国ロマンスの研究、言語とジェンダー
教 授	北川 明	1945	広島大学大学院教育研究科博士課程単位取得退学	教育学修士（広島大学）	教育原理	アイデンティティについて
教 授	佐藤 恵里	1948	早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了	文学博士（早稲田大学）	日本近世文学講読	近世文学・演劇に見る表現技法としての「やつし」、俄を中心とした芸能文化論
教 授	芝田 不比人	1948	広島大学大学院教育学研究科学習心理学専攻修士課程修了	文学修士（広島大学）	発達心理学	幼児放送教育の実践的研究
教 授	鈴木 哲也	1955	東北大学大学院文学研究科	文学修士（東北大学）	英米文化史	チョーサーの『カンタベリー物語』、中世ヨーロッパのキリスト教文化、大学生向けのキャリア教育
教 授	松本 茂章	1956	同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程（前期課程）	修士（政策科学）（同志社大学）	文化政策論、まちづくり政策論	官民協働の地域経営、地域ガバナンスと文化施設、自治体文化政策、指定管理者制度、わが国の歌劇史
助教授	岩倉 秀樹	1960	広島大学大学院社会科学研究科法学専攻博士課程後期単位取得退学	法学修士（広島大学）	現代社会論	表現の自由、選挙法
助教授	アン・アイズマンガー	1966	Natal大学大学院心理学研究科修士課程修了	M. A（Natal大学）	異文化コミュニケーション論	Quantitative methods、Factor Analysis、Instrumentation、Psychometric Validity
助教授	東原 伸明	1959	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士（国学院大学）	平安朝文学演習	古事記、土佐日記、源氏物語の語りと言語・テキスト分析
助教授	橋尾 直和	1960	東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学	教育学修士（鳴門教育大学）	日本語言語文化論講読	東アジアにおける地域言語（日本語諸方言・アイヌ語・琉球語）の文化環境言語学的研究
助教授	高岡 弘幸	1960	大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士（大阪大学）	文化人類学演習	日本各地の妖怪・怪異の比較研究、アジア諸都市の現代文化の比較研究

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教授	五百蔵 高浩	1963	兵庫教育大学大学院連合博士課程単位取得退学	教育学修士 (鳴門教育大学)	英語言語文化演習	日本人英語学習者の第2言語音韻および語形成能力習得研究 コーパス言語学的アプローチによる英語学習語彙に関する研究
助教授	青木 淳	1965	総合研究大学院大学文化科学研究科博士後期課程修了	学術博士(総合研究大学院大学)	美術史	中世彫刻史の研究、聖遺物信仰の比較研究
助教授	高西 成介	1968	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学	文学修士 (広島大学)	中国文学演習	六朝志怪小説、唐代伝奇小説の解説、およびそれらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解明
助教授	清原 泰治	1961	筑波大学大学院修士課程修了	体育学修士 (筑波大学)	土佐地域文化研究(スポーツ)	戦後復興期における高知県のスポーツに関する歴史的研究 中山間地域における介護予防を目的とする総合型地域スポーツクラブの研究 グリーン・ツーリズム学習における知の形態と生きる力ー高知県四万十川流域を事例にー
講 師	長妻 由里子	1968	筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得退学	文学修士 (筑波大学)	ジェンダー論演習	ペリーのアメリカにおける身体表象とジェンダー
講 師	山口 善成	1974	筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科	文学修士 (筑波大学)	アメリカ文学演習	19世紀半ばのアメリカにおける国家史の誕生(とりわけ国家史の誕生と自然誌との関わりについて)
講 師	マイケル・ジョン・ペインター	1966	オークランド大学大学院	修士(英語教授法) (オークランド大学)	外国語教育	Lexical Analysis

○看護学部看護学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	野嶋 佐由美	1950	カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了	看護学博士(カリフォルニア大学)	基礎看護学	家族看護に関する研究
教 授	山田 覚	1957	東海大学大学院工学研究科博士課程修了	工学博士 (東海大学)	看護管理学	看護管理システムの分析と統計、看護サービスの質の向上と安定、災害看護支援ネットワークに関する研究
教 授	齋藤 信也	1958	岡山大学大学院医学研究科修了	医学博士 (岡山大学)	専門基礎医学	在宅緩和ケアシステムの構築、がん医療における医療費の自己負担の実態、緩和医療教育プログラムの開発、地域医療におけるMSWの役割

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	鈴木 志津枝	1953	オレゴンヘルスサイエンス大学看護学部博士課程修了	看護学博士(オレゴンヘルスサイエンス大学)	慢性期看護学	在宅ターミナルケアに関する地域ネットワークシステムモデルの開発、がん患者のギアチェンジを支える援助モデルの開発
教 授	中野 綾美	1958	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学	看護学博士(日本赤十字看護大学)	小児看護学	研究成果を実践に根付かせるための専門看護師を活用した臨床－研究連携システムの構築、病気の子ども・家族の医療への参画に関する研究
教 授	森下 利子	1950	三重大学医学部衛生学講座衛生学専攻修了	医学博士(三重大学)	急性期看護学	わが国のがん患者に対するリラクセーション介入研究の検討と課題、がん患者のギアチェンジを支える援助モデルの開発
教 授	藤田 佐和	1959	聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程修了	看護学博士(聖路加看護大学)	慢性期看護学	がん体験者の折り合いをつける力に着眼した長期的適応を促す看護援助プログラムの開発
教 授	時長 美希	1957	聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程前期修了	看護学修士(聖路加看護大学)	地域看護学	地域看護学領域で活用されている看護介入に関する研究
教 授	谷脇 文子	1950	香川医科大学医学研究科修士課程看護学専攻	医学修士(香川医科大学)	看護管理学	看護師の臨床実践能力の習得に関する研究、看護職の継続教育、災害看護
教 授	粕田 孝行	1950	名古屋保健衛生大学看護学科修了		精神看護学	境界性人格障害の理解と看護アプローチ
助教授	長戸 和子	1961	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知女子大学)	基礎看護学	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力
助教授	益守 かづき	1964	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(日本赤十字看護大学)	小児看護学	慢性の経過をたどる子どものヘルスプロモーション、病気をかかえた子どもの家族の医療への参画、病気をかかえた子どもの家族への看護ケア
助教授	竹崎 久美子	1960	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知女子大学)	老人看護学	高齢者の「居がい」について、小規模デイサービスの場づくりとケア効果、高齢者の体型と歩行パターンに応じた生活行動範囲回復のためのセルフケアプログラム開発
助教授	森下 安子	1958	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士(東京医科歯科大学)	老人看護学	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、災害看護支援ネットワークに関する研究
助教授	松本 鈴子	1959	福岡教育大学大学院	教育学修士(福岡教育大学)	母性看護学	出産に伴う母親の心理状態に関すること
講 師	大川 宣容	1967	千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	看護学修士(千葉大学)	急性期看護学	クリティカルケアにおける看護師の看護援助技術の探究、がん患者のギアチェンジを支える援助モデルの開発、災害看護支援ネットワークの運用に関する研究

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講 師	池添 志乃	1965	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	基礎看護学	生活の再構築に取り組む家族の介護キャリア
講 師	青本 さとみ	1963	聖路加看護大学大学院修士課程修了	看護学修士 (聖路加看護大学)	精神看護学	ダンスセラピーや集団への介入
講 師	川上 理子	1967	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士(東京医科歯科大学)	地域看護学	人工呼吸器装着の在宅療養者と家族への看護、介護負担の大きい家族へのレスパイトケア、小規模多機能型事業(通所看護等)のシステム構築、訪問看護師の質保証のためのプログラム検討
講 師	瓜生 浩子	1969	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	患者と家族の間に生じる認知的不協和を緩和するためのケアガイドラインの作成、障害を持ちながら急性期病院を退院する患者とその家族の退院準備性を高める看護ケア
講 師	佐東 美緒	1965	広島大学大学院医学系研究科博士前期課程修了	保健学博士 (広島大学)	小児看護学	「NICUを退院した子ども・家族のエンパワメントを支援するガイドライン」の開発、家族の看護者に対する『交渉』を支援する看護介入の開発、乳児期の子どもを育てる親を育児困難感から開放するコミュニケーション技術の開発
講 師	嶋岡 暢希	1969	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(日本赤十字看護大学)	母性看護学	母乳育児の支援、育児困難に関する研究
助 手	井上 正隆	1978	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程終了	看護学修士 (高知女子大学)	看護管理学	看護サービスにおける患者・看護師の満足の構造分析、看護・医療サービス分野におけるCRM戦略
助 手	水津 朋子	1975	神戸市看護大学大学院看護学研究科修士課程終了	看護学修士 (神戸市看護大学)	慢性看護学	脳卒中患者とその家族への在宅看護支援モデルの開発
助 手	高見 千恵	1967	川崎医療福祉大学大学院	保健看護学修士 (川崎医療福祉大学)	老人看護学	在宅高齢者の服薬ケア、在宅高齢者の介護保険サービスに対する評価
助 手	平原 直子	1974	東海大学大学院健康科学研究科修士課程看護学専攻	看護学修士 (東海大学)	基礎看護学	クリティカルケアにおける意識障害患者の家族に対する看護ケアに関する研究
助 手	池田 貴子	1970	県立長崎シーボルト大学大学院	看護学修士 (長崎シーボルト大学)	精神看護学	慢性精神障害者の社会支援・対処行動・QOLの関係に関する研究、小学校高学年児童のストレス対処行動・心身症状に関する研究、慢性精神障害者のセルフケア能力に関する研究

○社会福祉学部社会福祉学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	前山 智	1949	大阪大学大学院工学研究科修士課程修了	工学博士 (東北大学)	福祉情報演習	情報教育、X線吸収微細構造による表面構造解析
教 授	川崎 育郎	1944	同志社大学大学院文学研究科修士課程修了	文学修士 (同志社大学)	臨床心理学	障害のある子どもや不適応な状態に陥った子どもへの援助と家族への援助
教 授	住友 雄資	1961	北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士課程修了	博士(臨床福祉学) (北海道医療大学)	社会福祉援助技術総論	精神障害者の地域生活支援
教 授	田中 きよむ	1962	京都大学大学院経済学研究科後期課程単位取得退学	経済学修士 (京都大学)	社会保障論Ⅰ・社会保障論Ⅱ	福祉制度の公共性と持続可能性の両立に向けたシステム研究、地域福祉(活動)計画における住民参加型まちづくりの形成要因、アマルティア・センの福祉経済理論と人間発達の社会指標化
助教授	玉里 恵美子	1965	龍谷大学文学研究科社会学専攻博士課程満期退学	博士(社会学)	家族社会学	過疎地域の活性化、過疎地域の高齢者問題と地域福祉
助教授	吉野 由美子	1947	日本女子大学大学院文学研究科博士前期課程修了	社会学修士 (日本女子大学)	障害者福祉論	中途視覚障害者のリハビリテーションシステムの確立と方法論の研究、ロービジョンケアシステムの確立方法論について、障害者への情報提供・相談支援窓口の確立について
助教授	宮上 多加子	1958	高知女子大学大学院健康生活科学研究科後期博士課程修了	社会福祉学博士 (高知女子大学)	介護概論	家族の認知症介護実践力向上に関する研究、認知症介護実践力の構造と変化に関する研究
助教授	長澤 紀美子	1963	新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了	学術博士 (新潟大学)	国際福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向、福祉サービスの評価・行政評価、NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)政策の保健医療福祉分野への適用、保健医療福祉分野におけるガバナンスと住民・利用者の意思決定への参加
講 師	鈴木 孝典	1974	大正大学大学院文学研究科修士課程社会福祉学専攻修了	修士(文学) (大正大学)	精神保健福祉論・精神保健福祉援助実習	精神障害者地域生活支援サービスにおけるリスク・アナリシス、自殺未遂者に対する社会的支援に関する研究

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講 師	西内 章	1972	龍谷大学大学院社会研究科 修士課程修了	社会福祉学修士 (龍谷大学)	社会福祉技術演習Ⅰ	高齢者生活支援におけるソーシャルワーカーのディレンマについて
講 師	西梅 幸治	1978	京都府立大学大学院福祉社会 学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	地域福祉論・社会福祉 援助技術各論	ソーシャルワークにおけるエンパワーメント実践に関する研究、エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究
助 手	太田 こずえ	1978	北海道大学大学院教育学研究 科修士課程修了	修士(教育学) (北海道大学)		障害のある若者の自立

【大学院】（平成18年度）

○看護学研究科＜修士課程＞

領 域	職 名	氏 名	主たる担当科目
—	教 授	鈴 木 志津枝	看護理論と実践・がん看護論・がん看護対象論・がん看護対応看護援助論ほか
—	教 授	野 嶋 佐由美	看護研究と実践・家族看護論・家族看護援助論・家族看護学研究方法ほか
—	教 授	中 野 綾 美	小児看護論・小児看護対象論・小児看護展開論・小児看護の動向と展望ほか
—	教 授	粕 田 孝 行	精神看護対象論・精神看護展開論・精神看護方法論・精神看護論ほか
—	教 授	森 下 利 子	がん患者看護展開論・成人看護ケア研究・臨床看護学研究方法ほか
—	教 授	山 田 覚	看護管理論・システム経営管理論・看護サービス管理論ほか
—	教 授	藤 田 佐 和	慢性看護論・慢性看護対象論・家族と病気・看護倫理
—	教 授	谷 脇 文 子	看護管理論・看護管理展開論・看護サービス管理論ほか
—	教 授	時 長 美 希	地域看護論・地域看護展開論Ⅰ・Ⅱ・在宅ケアシステム論・看護研究演習Ⅲほか
—	教 授	齋 藤 信 也	フィジカルアセスメント特論・病態生理学
—	助教授	長 戸 和 子	家族看護論・家族看護援助論・家族ケアの動向と展望・家族看護学実践演習ほか
—	助教授	益 守 かづき	小児看護対象論・小児看護論・小児看護学実践演習
—	助教授	森 下 安 子	在宅老人看護論・老人看護論・在宅看護展開論・在宅老人看護学実践演習ほか
—	助教授	竹 崎 久美子	老人看護展開論・在宅看護展開論・在宅老人看護学実践演習Ⅰほか
—	講 師	大 川 宣 容	がん看護学実践演習
—	講 師	池 添 志 乃	家族看護学実践演習
—	講 師	川 上 理 子	地域看護学実践演習

○人間生活学研究科＜修士課程＞

領 域	職 名	氏 名	主たる担当科目
共 通	教 授	前 山 智	特別講義Ⅴ（データ解析論）
共 通	教 授	谷 本 真 二	特別講義Ⅴ（データ解析論）
共 通	教 授	井 本 正 人	特別講義Ⅳ（生活環境論）
生 活	教 授	荻 沼 一 男	人間生活健康情報論・人間生活論演習Ⅰ・環境生態論・課題研究演習
生 活	教 授	佐 藤 厚	人間生活健康情報論・人間生活論演習Ⅰ・人間栄養論Ⅰ・課題研究演習
生 活	教 授	川 村 美笑子	人間生活健康情報論・人間生活論演習Ⅱ・人間栄養論Ⅱ・課題研究演習
生 活	教 授	宇 野 浩 三	住環境論・課題研究演習
生 活	教 授	一 色 健 司	環境解析論Ⅰ・課題研究演習
生 活	教 授	大 村 誠	環境解析論Ⅱ・課題研究演習
生 活	教 授	笠 原 賀 子	人間生活論演習Ⅱ・栄養教育特論
生 活	助教授	三 浦 要 一	人間生活福祉政策論・住生活論・課題研究演習
生 活	助教授	團 野 哲 也	特別講義Ⅳ（生活環境論）
福 祉	教 授	青 山 英 康	人間生活福祉政策論・特別講義Ⅱ（保健・医療・福祉制度論）・課題研究演習

領 域	職 名	氏 名	主たる担当科目
福 祉	教 授	齋 藤 信 也	人間生活福祉政策論・臨床福祉論・課題研究演習
福 祉	教 授	住 友 雄 資	ソーシャルワーク論・課題研究演習
福 祉	教 授	田 中 きよむ	福祉行財政論・課題研究演習
福 祉	助教授	宮 上 多加子	介護福祉論
福 祉	助教授	長 澤 紀美子	国際福祉政策論
文 化	教 授	佐 藤 恵 里	地域文化論Ⅰ・課題研究演習
文 化	教 授	青 木 晴 男	英米文化論Ⅰ・課題研究演習
文 化	教 授	北 川 明	人間生活健康情報論
文 化	教 授	松 本 茂 章	特別講義Ⅲ（文化政策論）
文 化	教 授	芋 生 裕 信	日本文化論Ⅱ
文 化	教 授	水 谷 洋 一	英米文化論Ⅱ
文 化	助教授	青 木 淳	地域文化論Ⅱ・課題研究演習
文 化	助教授	東 原 伸 明	日本文化論Ⅰ
文 化	助教授	高 岡 弘 幸	特別講義Ⅲ（文化政策論）

○健康生活科学研究科＜博士課程＞

領 域	職 名	氏 名	主たる担当科目
共 通	教 授	佐 藤 恵 里	身体表現論
看 護	教 授	野 嶋 佐由美	家族看護論Ⅰ、Ⅱ・看護学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・がん看護論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
看 護	教 授	鈴 木 志津枝	看護学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
看 護	教 授	山 田 覚	システム経営論Ⅰ、Ⅱ・看護学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
看 護	教 授	中 野 綾 美	小児看護論Ⅰ、Ⅱ・看護学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
看 護	教 授	藤 田 佐 和	慢性看護論Ⅰ、Ⅱ・看護学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
看 護	教 授	森 下 利 子	成人看護論
生 活	教 授	佐 藤 厚	臨床栄養論・生活科学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
生 活	教 授	川 村 美笑子	栄養生理論・生活科学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
生 活	教 授	荻 沼 一 男	環境生態論・生活科学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
生 活	教 授	宇 野 浩 三	居住環境論・生活科学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
生 活	教 授	大 村 誠	地球環境解析論
福 祉	教 授	青 山 英 康	医療・福祉制度論・社会福祉学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
福 祉	教 授	齋 藤 信 也	臨床福祉論・社会福祉学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
福 祉	教 授	住 友 雄 資	精神障害者福祉論・社会福祉学特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

※ 非常勤講師

（平成18年4月1日現在）

		氏 名	専門分野(担当科目)
生活科学部	生活デザイン学科	上 田 堯 世	住居管理論
		石 田 秀 樹	住居環境・設備学
		太 田 憲 男	住居設計実習Ⅲ
		金 平 克 也	生活法学
		蒲 生 啓 司	生活科学論B
		桑 村 佐和子	生涯発達論
		坂 本 正 夫	生活科学論A
		柴 山 キヨ子	食様式論
		末 田 光 一	色彩学
		高 木 和 久	情報科学演習Ⅰ・Ⅱ
		寺 内 アヤ子	被服学実習Ⅱ
		徳 弘 忠 純	住居法規
		中 澤 純 治	生活調査法
		西 森 啓 史	インテリアデザイン論
		二 宮 厚 美	地域生活論
		原 絢 子	家庭機械・家庭電気
		松 澤 敏 明	住居法規
		丸 井 一 郎	コミュニケーション論
		山 本 修	ハウジング論
		渡 部 嗣 道	住居材料施行法
	健康栄養学科	網師本 真 季	こころと身体活動
		河 合 洋 見	給食経営管理論
		後 藤 昌 弘	基礎調理学
		田 口 徹 也	健康管理論
		田 中 弘 之	運動生理学
		谷 木 利 勝	臨床生理学
		長 尾 恭 代	食事介護実習
		西 村 直 己	人間病態論
		甲 藤 温 子	学校栄養指導論Ⅰ・Ⅱ
		有 安 日出子	学校栄養指導論Ⅱ
		渡 邊 文 雄	基礎食品学
	環境理学科	石 川 慎 吾	生態学
		岩 崎 望	臨海実習
		岡 田 昌 久	環境生物学実験
		酒 井 敏	流体地球科学
		関 伸 吾	環境保全学
		種 田 耕 二	環境生物学実験
		塚 本 修	気象学
		西 山 孝	地球エネルギー論
		原 絢 子	物性科学
		藤 山 亮 治	環境有機化学
		北 條 正 司	環境分析化学
		町 田 吉 彦	環境生物学実験
		松 岡 達 臣	情報生理学
文化学部	文化学科	峯 一 朗	生殖生物学
		安 田 尚 登	古環境学
		安 藤 恵 崇	比較宗教学
		今 井 多衣子	日本語教授法
		上 田 健 作	NPO論

		氏 名	専門分野(担当科目)
文化学部	文化学科	内 田 洋 子	N P O 論
		大 櫛 淳 弘	アジア思想史
		大 野 定 男	書道
		荻 慎一郎	日本史
		塩 見 由 利	比較文学
		遠 山 仁	新聞論
		中 島 久 枝	比較文化論
		半 田 雅 典	N P O 論
		廣 田 佳 久	考古学
		福 島 尚	日本文学講読（古典）
		堀 見 麻保郎	新聞論
		宮 村 憲 章	新聞論
		森 沢 孝 道	新聞論
		松 吉 明 子	英語言語文化論講読 I
		山 岡 匡	情報処理演習
看護学部	看護学科	秋 丸 国 広	公衆衛生学
		家 保 英 隆	保健統計
		今 井 章 介	微生物学
		上 村 由 樹	病態と治療 I
		大 野 直 幹	小児と疾患
		大 畑 雅 典	病態と治療 I
		岡 林 孝 弘	病態と治療 II
		岡 部 学	病態と治療 II
		奥 谷 文 乃	人体のしくみ II-A、人体のしくみ II-B
		菅 野 尚	病態と治療 I
		片 岡 功 一	小児と疾患
		上 村 直 人	心のしくみ
		吉 川 清 志	小児と疾患
		小 林 誠	病態と治療 I
		西 原 利 治	病態と治療 I
		佐々木 剛	小児と疾患
		澤 田 健	心のしくみ
		渋谷 祐 一	病態と治療 II
		清 水 孝 洋	薬理学
		高 橋 章 仁	小児と疾患
		田 上 豊 資	看護と政策
		田 口 徹 也	疫学
		田 村 耕 三	病態と治療 II
		土 山 芳 徳	病態と治療 I
		手 島 恵	看護学の動向と課題
		時 岡 孝 光	病態と治療 II
		中 村 裕 之	公衆衛生学
		那 須 良 次	病態と治療 II
		西 内 律 雄	小児と疾患
		西 岡 豊	病態と治療 II
		西 村 直 己	病態と治療 I
		八 木 文 雄	行動科学
		宮 澤 真 理	小児と疾患
		明 神 和 広	心のしくみ
		森 岡 信 之	母性学

		氏 名	専門分野(担当科目)
看護学部	看護学科	森 本 雅 徳	病態と治療Ⅱ
		安 田 誠 史	健康管理論
		吉 村 公比古	病態と治療Ⅰ
社会福祉学部	社会福祉学科	澤 田 敬	子育て支援論
		杉 本 雅 史	精神保健福祉援助技術各論
		住 友 芳 美	精神保健福祉援助演習
		高 橋 紀 子	医療福祉論
		武 田 廣 一	精神科リハビリテーション学
		半 田 雅 典	社会福祉特論（ボランティア・NPO論）
		松 田 眞 一	社会福祉概論Ⅰ
		山 崎 正 雄	精神保健学
		吉 永 宣 生	社会福祉施設経営管理論
		今 井 多衣子	日本語の表現技術
		大 井 方 子	暮らしと経済学
		奥 野 克 仁	絵画を読む（西洋）
		金 子 光 広	情報処理概論
共通教育		上 岡 克 己	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション）
		蒲 生 啓 司	生活の中の科学
		北 添 紀 子	心とからだの科学
		クレイグ・ディレイニー	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション） 英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
		斎 藤 昌 人	ドイツ語中級Ⅰ・ドイツ語中級Ⅱ
		澁 谷 恵 子	心とからだの科学
		ジェニー・カーン	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション） 英語コミュニケーションⅡ（スピーキング） 英語コミュニケーションⅢ（ライティング）
		スティーブン・キャンベル	英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
		谷 口 雅 基	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション）
		遠 山 茂 樹	情報と社会
		中 島 久 枝	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション） 英語コミュニケーションⅢ（ライティング）
		原 絢 子	物理の考え方
		原 崎 道 彦	倫理学、哲学入門
		福 田 善 乙	土佐の経済とまちづくり
		ブレット・ミリナー	英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
		ディビッド・レスリー	英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
		保 坂 哲 郎	国際社会と日本
		本 間 聖 康	心とからだの科学
		マーカス・オトロウスキー	英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
		安 藤 麻 貴	フランス語
		マイケル・シャープ	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション） 英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
		前 田 文 子	中国語初級Ⅰ・中国語初級Ⅱ・中国語中級Ⅰ・中国語中級Ⅱ
		松 吉 明 子	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション）
		宮 本 隆 信	健康スポーツ科学Ⅱ・コンピューターリテラシー
		持 尾 伸 二	ドイツ語初級Ⅰ・ドイツ語初級Ⅱ
		八 木 年 晴	食の科学
		八 木 文 雄	心の科学
		安 田 尚 登	地球の科学
		山 本 英 作	健康スポーツ科学Ⅰ

	氏 名	専門分野(担当科目)
共通教育	吉 岡 葉 子	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション）
	吉 門 牧 雄	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション） 英語コミュニケーションⅡ（スピーキング）
	リンダ・アロム	英語コミュニケーションⅠ（ファウンデーション）
	渡 邊 かほる	英語コミュニケーションⅢ（ライティング）
教 職	市 村 藤 一	特別活動論・生徒指導論
	伊 藤 一 統	教育社会学
	堅 田 美 穂	国語科教育法Ⅰ・国語科教育法Ⅱ
	国 沢 鎮 雄	教育実習
	小 島 郷 子	家庭科教育法Ⅲ・家庭科教育法Ⅳ
	中 澤 勇 夫	同和教育
	那 須 恒 夫	英語科教育法Ⅱ
	松 本 文 彦	教育相談論
	田 沼 茂 紀	教育課程論
	山 崎 善 正	教師論
学 芸 員	大 野 敏	博物館学Ⅰ
	関 幸 代	博物館実習講義
	中 村 淳 子	博物館実習講義
	廣 田 佳 久	博物館学Ⅱ
	松 本 教 仁	博物館学Ⅲ

※ 臨床教授

高知医療センター	病院長	堀見 忠司
〃	副院長	大脇 嶺
〃	副委員長・地域医療センター長	深田 順一
〃	総合周産期母子医療センター長	吉川 清志
〃	救命救急センター長	福田 充宏
〃	がんセンター長	森田 荘二郎
〃	循環器病センター長	岡部 学
〃	看護局長	梶本 市子
〃	副看護局長	森田 なつ子
〃	副看護局長	山崎 清恵
高知赤十字病院	看護部長	東 洋子
高知大学医学部附属病院	看護部長	宮井 千恵
近森会	常任理事・看護部長	梶原 和歌
高知県	健康福祉部健康対策課長	脇 節子

※ 客員教授

宮尾 登美子
高村 禎二

3 事務局職員

(平成18年4月1日現在)

課室名	職 名	氏 名	課室名	職 名	氏 名
	事務局長	樫 谷 幸 男	総合情報 センター 事 務 室	室 長 (短大兼)	津 野 晴 利
	事務局次長	横 田 和 典		主 任 (短大兼)	水 田 卓 博
	室 長 (兼)	横 田 和 典		司 書	古 谷 留 美
改 革 推進室	チーフ	梅 原 博 子		司 書	渡 邊 桂 子
	主 幹	小 川 歌 奈		非常勤職員 (司書)	中 嶋 梨 沙
				非常勤職員	北 村 江利奈
総 務 企画課	総務課長 (短大兼)	島 内 信 雄	池事務室	室 長	吉 成 克 仁
	チーフ (総務担当)	山 本 幸 子		チーフ	塩 田 秀 夫
	チーフ (企画広報担当)	木 下 俊 雄		主 任	橋 本 久仁子
	チーフ (地域連携担当)	松 下 満 弓		主 任	井 上 雅 代
	主 任 (短大兼)	小 川 初 美		主 任	栢 山 岩 夫
	主 任	別 役 昌 昭		主 任	入 交 智 子
	主 任	森 下 友 香		主 任	鈴 木 龍 晴
	主 幹	安 並 文		非常勤職員	岡 本 淳 子
	主 幹	岡 本 英 二		非常勤職員	田 中 由紀子
	主 事	谷 岡 優 花		非常勤職員	濱 田 美 代
	主任技師	山 崎 馨		非常勤職員 (司書)	笹 岡 真 野
	非常勤職員	中 川 真由美		非常勤職員 (司書)	小 幡 久美子
	非常勤職員	伊 藤 祥 代			
学 生 課	学生課長	近 藤 幸 雄			
	チーフ (教務担当)	伊與木 富 雄			
	チーフ (学生支援担当)	細 川 忠 宣			
	主 任	阿 部 久実子			
	主 任 (短大兼)	久 米 幸 彦			
	主 任	松 田 由 紀			
	主 任	北 添 仁 司			
	主 任	岡 村 美 紀			
	主 幹	中 平 麻 矢			
	主 事 (短大兼)	山 崎 雄 司			
	主任技師	南 多麻代			
	非常勤職員	由 比 由 紀			
	非常勤職員	中 西 信 乃			
	非常勤職員	和 田 真 美			
	非常勤職員 (保健師)	坂 本 恵 子			
	非常勤職員 (調理員)	中 村 文			
	非常勤職員 (学部事務補助)	臼 杵 典 代			
	非常勤職員 (学部事務補助)	海 地 香奈子			

4 教育及び研究

1 学部・大学院の概要

【学 部】

○ 生活科学部

人間生活を取り巻く様々な現象を「個としての人間、家族、生活の質」「人間発達や健康の維持・増進」「自然環境と人間生活と関わり」という面から科学的に分析し、認識することを通じて、生活者の視点から、来るべき時代の新たな生活様式を創造し得る人材を養成する。

- * 生活科学のジェネラリストとしての能力の養成
- * 個別分野におけるスペシャリストとしての能力の養成
- * 問題を提起し科学的に考察し解決する能力の養成
- * 地域における実践的能力の養成
- * 情報発信、情報交換能力の養成

○ 文化学部

地元高知の文化、日本の文化、英・米・中をはじめとする諸外国・諸地域の文化について、文学、社会、言語などの角度から深くかつ広く学習することによって、文化の継承と発展及び創造に寄与できる人材を養成する。

- * 人間に対する理解力と自己表現力の養成
- * 地域や現代社会の文化的課題に対する理解力と実践力の養成
- * 日本語及び外国語の優れた運用能力とともに異文化間コミュニケーション能力の養成

○ 看護学部

看護の理念や専門的知識、技術を教授・研究することを通じて、社会の健康問題を人々とともに解決し、人々の健康生活の向上に貢献することができる豊かな人間性・創造性を持った看護者を育成する。

また教育・研究活動を通して看護学の発展に寄与するとともに、地域に根ざした大学として、保健医療活動を通じて人々の健康に貢献する。

- * 人間に対する総合的な理解と科学的・倫理的判断のもとに看護を展開し、健康問題を解決することができる看護者の育成
- * 人間の尊厳、その人らしさを守りながら、その人がより創造的に自らの力を発揮できるように支援できる看護者の育成
- * 社会のニーズを察知し、看護者として他の保健医療従事者と連携しながら健康問題を解決する役割を積極的に担うことのできる看護者の育成
- * 自主的・積極的に学ぶ姿勢と、看護者としてのアイデンティティを培い、専門職者としての自覚を持って、人々の健康生活の向上に貢献することのできる看護者の育成
- * 広い視野に立ち、研究的視点を持って看護の本質を追究し、看護学の体系化に貢献できる看護者の育成

○ 社会福祉学部

人権思想とノーマライゼーションの思想に裏打ちされた社会福祉の理念と専門的知識・援助技術を教授・研究することにより、現代社会及び高知県が直面する高齢化・過疎化などから生ずる福祉課題に主体的に対応する有為な人材を育成する。

- * 地域・家族のもつ福祉課題への対応能力の養成
- * 社会福祉実践能力の養成
- * 健康・医療・福祉などの効果的な連携を図る能力の養成

【 大学院 】

○ 看護学研究科（修士課程）

看護の理念や専門的知識、技術を教授・研究することを通じて、社会の健康問題を人々とともに解決し、人々の健康生活の向上に貢献することができる豊かな人間性・創造性を持った、専門看護師（CNS）及び研究者を育成する。

また、将来にわたる看護の実践・教育・研究活動を通して、看護の変革者として看護学に寄与するとともに、地域に根ざした大学として、地域の人々の健康を促進する文化を創造し、発展させる能力を身に付けた看護専門職者を育成する。

さらには、ヒューマンイズムの立場に立ち、地域の人々の健康問題を、個人・家族・地域のダイナミズムを視野において、倫理的・科学的判断に裏付けされた質の高い看護ケアを提供できる看護専門職者を育成する。

○ 人間生活科学研究科（修士課程）

人間及び人間生活について、生活科学領域、社会福祉領域、文化領域の複数の研究領域から複合的に教育・研究し、複合的な職業能力を有する高度専門職業人を養成する。

○ 健康生活科学研究科（博士後期課程）

健康生活に関する学術的な課題を自立して研究し、健康生活科学に寄与する高度な専門的知識や技術を創造する研究者を育成する。

併せて、健康生活科学の知識・技術、研究能力を身につけ、高度に専門的な業務に従事することのできる高度専門職業人を育てる教育者を育成する。

本研究科では、次のような研究へのアプローチを行う。

- * 健康を基本的な権利として捉え、ヒューマンイズムの理念に基づき、生活者としての人間の視点から健康生活の実現に向けての研究
- * 生涯を通して健康で安心して暮らすことができるような個人システム、家族システム、生活システム、社会システムの探求・研究
- * 健康や健康生活に関わる諸問題を「看護学」「生活科学」「社会福祉学」の知識・技術を軸に、複眼的な視点からの研究

2 教育科目及び受講者の状況

【学 部】

(1) 共通教育科目（平成19年3月31日現在）

ア 土佐学科目

授 業 科 目	受講者数(人)	授 業 科 目	受講者数(人)
土佐の歴史と文化	122	土佐の自然と暮らし	96
土佐の経済とまちづくり	56	土佐の健康と福祉	32

イ 女性学科目

授 業 科 目	受講者数(人)	授 業 科 目	受講者数(人)
女性学入門	118	女性の生活と健康	21
女性とキャリア	128		

ウ 教養科目

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
人 文 科 学 系	倫理学		137	社 会 科 学 系	国際社会と日本		29
	心の科学		52		福祉の世界		85
	哲学入門		163		看護の世界		3
	音楽療法入門		112		ユニバーサルデザイン基礎論		53
	器楽音楽Ⅰ		32	自 然 科 学 系	数の世界		15
	器楽音楽Ⅱ		9		生活と統計学		19
	絵画を読む		68		物理の考え方		8
	日本語の表現技術		31		生活の中の化学		40
	文学の世界		21		生命の科学		44
社 会 科 学 系	日本国憲法		212		地球の科学		50
	暮らしと経済学		30		生活デザインの世界		29
	現代社会論		47		食の科学		34

エ 情報科目

授 業 科 目	受講者数(人)	授 業 科 目	受講者数(人)
情報と社会	45	心とからだの科学	97
情報処理概論	176	健康スポーツ科学Ⅰ	203
コンピュータリテラシー	216	健康スポーツ科学Ⅱ	200

オ 健康スポーツ科目

カ 教養セミナー

授 業 科 目	受講者数(人)
教養セミナー	45

オ 外国語科目

○生活科学部 生活デザイン学科

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
英 語	英語コミュニケーションⅠ		80	フ ラ ン ス 語	フランス語初級Ⅰ		3
	英語コミュニケーションⅡ		23		フランス語初級Ⅱ		3
	英語コミュニケーションⅢ		0		フランス語中級Ⅰ		3
					フランス語中級Ⅱ		0
中国語	中国語初級Ⅰ		21	ド イ ツ 語	ドイツ語初級Ⅰ		0
	中国語初級Ⅱ		12		ドイツ語初級Ⅱ		0
	中国語中級Ⅰ		6		ドイツ語中級Ⅰ		0
	中国語中級Ⅱ		4		ドイツ語中級Ⅱ		0

○生活科学部 健康栄養学科

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
英 語	英語コミュニケーションⅠ	63	フ ラ ン ス 語	フランス語初級Ⅰ	1
	英語コミュニケーションⅡ	40		フランス語初級Ⅱ	1
	英語コミュニケーションⅢ	5		フランス語中級Ⅰ	0
				フランス語中級Ⅱ	0
中 国 語	中国語初級Ⅰ	2	ド イ ツ 語	ドイツ語初級Ⅰ	2
	中国語初級Ⅱ	0		ドイツ語初級Ⅱ	1
	中国語中級Ⅰ	0		ドイツ語中級Ⅰ	0
	中国語中級Ⅱ	0		ドイツ語中級Ⅱ	0

○生活科学部 環境理学科

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
英 語	英語コミュニケーションⅠ	34	フ ラ ン ス 語	フランス語初級Ⅰ	1
	英語コミュニケーションⅡ	41		フランス語初級Ⅱ	0
	英語コミュニケーションⅢ	12		フランス語中級Ⅰ	0
				フランス語中級Ⅱ	0
中 国 語	中国語初級Ⅰ	2	ド イ ツ 語	ドイツ語初級Ⅰ	0
	中国語初級Ⅱ	2		ドイツ語初級Ⅱ	0
	中国語中級Ⅰ	3		ドイツ語中級Ⅰ	1
	中国語中級Ⅱ	1		ドイツ語中級Ⅱ	1

○文化学部 文化学科

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
英 語	英語コミュニケーションⅠ	280	フ ラ ン ス 語	フランス語初級Ⅰ	16
	英語コミュニケーションⅡ	73		フランス語初級Ⅱ	16
	英語コミュニケーションⅢ	46		フランス語中級Ⅰ	9
				フランス語中級Ⅱ	11
中 国 語	中国語初級Ⅰ	62	ド イ ツ 語	ドイツ語初級Ⅰ	14
	中国語初級Ⅱ	60		ドイツ語初級Ⅱ	16
	中国語中級Ⅰ	65		ドイツ語中級Ⅰ	10
	中国語中級Ⅱ	67		ドイツ語中級Ⅱ	13

○看護学部 看護学科

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
英 語	英語コミュニケーションⅠ	154	フ ラ ン ス 語	フランス語初級Ⅰ	2
	英語コミュニケーションⅡ	42		フランス語初級Ⅱ	1
	英語コミュニケーションⅢ	39		フランス語中級Ⅰ	0
				フランス語中級Ⅱ	0
中 国 語	中国語初級Ⅰ	0	ド イ ツ 語	ドイツ語初級Ⅰ	1
	中国語初級Ⅱ	0		ドイツ語初級Ⅱ	0
	中国語中級Ⅰ	0		ドイツ語中級Ⅰ	0
	中国語中級Ⅱ	0		ドイツ語中級Ⅱ	0

○社会福祉学部 社会福祉学科

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
英 語	英語コミュニケーションⅠ	105	フ ラ ン ス 語	フランス語初級Ⅰ	0
	英語コミュニケーションⅡ	23		フランス語初級Ⅱ	0
	英語コミュニケーションⅢ	10		フランス語中級Ⅰ	0
				フランス語中級Ⅱ	0
中 国 語	中国語初級Ⅰ	0	ド イ ツ 語	ドイツ語初級Ⅰ	1
	中国語初級Ⅱ	0		ドイツ語初級Ⅱ	1
	中国語中級Ⅰ	0		ドイツ語中級Ⅰ	0
	中国語中級Ⅱ	0		ドイツ語中級Ⅱ	0

(2) 専門教育科目

○生活科学部 生活デザイン学科

(平成19年3月31日現在)

授 業 科 目			授 業 科 目		
		受講者数(人)			受講者数(人)
学部共通	生活デザイン学概論	21	衣と生活	服飾造形実習Ⅰ	21
	健康栄養学概論	21		服飾造形実習Ⅱ	11
	環境理学概論	23		服飾工芸実習	11
	生涯発達論	24		アパレル情報論	12
	生活科学論A	12		アパレル情報演習	8
	生活科学論B	10		被服環境科学	6
学科基礎	生活経済学	31	住と生活	被服環境科学演習	未開講
	コミュニケーション論	24		ファッション・ビジネス論	未開講
	地域生活論	14		住宅学(製図を含む)	22
	家族関係論	26		住宅一般構造	18
	生活様式論	8		住宅一般構造実習	18
	衣生活学	19		室内計画論	12
	住生活学	21		住居材料・施工法	41
	生活素材論	23		住居環境・設備学	32
	食様式論	26		住文化史	32
	基礎デザイン論	21		住居計画学	28
生活のデザイン	色彩学	22		住居管理論	20
	環境デザイン論	23	食と生活	ハウジング論	12
	環境デザイン実習	12		居住地計画論	16
	エクステリアデザイン論	未開講		住居法規	15
	インテリアデザイン論	27		住居設計実習Ⅰ	19
	アパレルデザイン論	27		住居設計実習Ⅱ	12
	アパレルデザイン実習	27		住居設計実習Ⅲ	12
	ユニバーサルデザイン各論	28	情報	調理科学	25
生活の経営	ユニバーサルデザイン演習	9		調理学実習	22
	生活経営学	28		調理科学実験	0
	生活情報論(実習を含む)	4	関連科目	情報科学演習Ⅰ	22
	生活法学	8		情報科学演習Ⅱ	12
	マーケティング論	未開講		食品の消費と流通	0
	消費生活論	27		基礎栄養学	31
衣と生活	生活調査法	27		基礎食品学	31
	生活調査実習	23		家庭機械・家庭電気	14
	被服材料学	31		保育学(実習及び家庭看護を含む)	12
	被服材料学実験	22	その他	企業実習	16
	被服材料学演習	4			
	生活材料物理化学	11			
	生活材料物理化学実験	0	課題研究	生活デザイン課題演習	23
	繊維製品消費科学	6		卒業研究	23
	衣文化論	21			
	被服学実験Ⅰ	21			
	被服学実験Ⅱ	未開講			

○生活科学部 健康栄養学科

(平成19年3月31日現在)

授 業 科 目			授 業 科 目		
		受講者数(人)			受講者数(人)
学部共通	生活デザイン学概論	21	食品科学	基礎食品学	22
	健康栄養学概論	21		食品成分と疾病予防	21
	環境理学概論	21		食品の栄養素と機能	21
	生涯発達論	22		食品の物性と機能	6
	生活科学論A	0		食品学実験Ⅰ	21
	生活科学論B	0		食品学実験Ⅱ	22
学科基礎	健康栄養のための基礎科学Ⅰ	27		食品学実験Ⅲ	未開講
	健康栄養のための基礎科学Ⅱ	21		身近な毒と食品	23
	健康栄養のための基礎科学Ⅲ	3		食品衛生学実験	24
	健康栄養のための基礎科学実験Ⅰ	15		食品とバイオテクノロジー	未開講
	健康栄養のための基礎科学実験Ⅱ	12	食の実践学	基礎調理学	21
	生物有機化学	9		調理科学	22
	数理統計学	6		調理科学実験	11
	こころと福祉	21		基礎調理学実習	21
	健康環境情報論	21		調理学実習Ⅰ	21
	健康環境情報論実習	21		調理学実習Ⅱ	9
	人間生活環境論	21		給食経営管理論	21
	食品の消費と流通	7		給食計画論	21
生体科学	生化学Ⅰ	22		大量調理論	46
	生化学Ⅱ	22		新調理システム論	未開講
	生化学実験Ⅰ	21		給食経営管理実習	25
	生化学実験Ⅱ	21		給食実務実習	25
	解剖生理学	22		給食経営管理臨地実習	25
	人間病態論	21	健康科学	運動生理学	21
	解剖生理学実験	22		健康科学論	38
	臨床検査医科学	24		健康管理論	2
	病理学	22		公衆栄養学	22
栄養科学	基礎栄養学	22		地域保健	45
	基礎栄養学実験	21		地域栄養アセスメント	45
	応用栄養学Ⅰ	22		地域保健実習	24
	応用栄養学Ⅱ	22		地域保健臨地実習	24
	応用栄養学Ⅲ	22		こころと身体活動	22
	応用栄養学実験	26		食事介護実習	26
	臨床栄養アセスメント	24	関連科目	生活経済学	0
	臨床代謝栄養学	21		生活経営学	0
	臨床栄養治療学	24		家族関係論	0
	臨床生理学	46		保育学(実習及び家庭看護を含む)	0
	臨床栄養学実習	24		衣生活学	0
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	25		服飾造形実習Ⅰ	0
	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	25		服飾造形実習Ⅱ	0
	栄養教育論	未開講		住居学(製図を含む)	0
	栄養カウンセリング論	45		家庭電気・家庭機械	0
	栄養教育論実習	24	その他	企業実習	4
	栄養情報処理論	24		卒業研究	23
	総合演習	24	課題研究		
	学校栄養指導論Ⅰ	14			
	学校栄養指導論Ⅱ	12			

○生活科学部 環境理学科

(平成19年3月31日現在)

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
学部共通	生活デザイン学概論	17	地球と環境	自然環境学	19
	健康栄養学概論	17		地球変動学	20
	環境理学概論	17		古環境学	14
	生涯発達論	21		地球エネルギー論	24
	生活科学論A	22		環境保全学	15
	生活科学論B	21		固体地球科学	16
学科基礎	物理学通論Ⅰ	17		流体地球科学	16
	物理学通論Ⅱ	17		気象学	21
	物理学基礎実験Ⅰ	17		地球環境情報学(実習を含む)	6
	物理学基礎実験Ⅱ	16	物質と環境	物質科学概論	19
	化学通論Ⅰ	17		力学	19
	化学通論Ⅱ	18		解析力学	7
	化学基礎実験Ⅰ	12		量子物理学	24
	化学基礎実験Ⅱ	12		量子力学	3
	生物学通論Ⅰ	18		流体力学	22
	生物学通論Ⅱ	18		電磁気学	4
	生物学基礎実験Ⅰ	17		固体物理学	未開講
	生物学基礎実験Ⅱ	15		環境物質学概論	22
	地学通論Ⅰ	17		環境有機化学	4
	地学通論Ⅱ	17		環境化学	6
	地学基礎実験Ⅰ	19		環境化学実験	4
	地学基礎実験Ⅱ	18		エントロピー論	20
	解析学Ⅰ	17		熱とエネルギー	15
	解析学Ⅱ	17		応用物理学	9
	解析学演習	17		環境分析化学	6
	線形代数学	17		化学計測学(実習を含む)	5
	線形代数学演習	15	形成環境	環境理学特論	未開講
	応用数学Ⅰ	17		環境理学セミナー	18
	応用数学Ⅱ	7	情報	計算機科学概論	28
	数理統計学	22		プログラミング通論Ⅰ	21
	科学史	未開講		プログラミング通論Ⅱ	19
生命と環境	生命科学	20		プログラミング実習Ⅰ	20
	情報生理学	16		プログラミング実習Ⅱ	18
	生命史	19		情報処理概論	19
	生態学	18		データ処理実習	19
	環境生物学	20	その他	企業実習	26
	環境生物学実験	10			
	野外実習	未開講	研究課題	卒業研究	35
	臨海実習	31			
	生殖生物学	9			

○文化学部 文化学科

(平成19年3月31日現在)

(その1)

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
文化基礎科目群		文化学入門	89	文学専修		近代イギリス文学講読A	18
		基礎演習	88			近代イギリス文学講読B	14
		土佐地域文化研究(方言)	135			現代イギリス文学講読A	12
		土佐地域文化研究(祭り)	46			現代イギリス文学講読B	5
		土佐地域文化研究(美術)	75			アメリカ文学講読	29
		土佐地域文化研究(スポーツ)	25			日本語文章構成法	71
		土佐地域文化研究(民俗)	未開講			英語文章構成法	25
		土佐地域文化研究(教育)	未開講			日本古典文学論文講読	未開講
		土佐地域文化研究(文学Ⅰ)	60			平安朝文学演習A	35
		土佐地域文化研究(文学Ⅱ)	未開講			平安朝文学演習B	29
		土佐地域文化研究(地域学)	24			日本近世文学演習A	15
		新聞論	93			日本近世文学演習B	14
		情報処理演習Ⅰ	14			日本近現代文学演習A	34
		情報処理演習Ⅱ	10			日本近現代文学演習B	32
		情報処理演習Ⅲ	未開講			中国古典文学演習A	7
		情報処理演習Ⅳ	4			中国古典文学演習B	8
		プレゼンテーション論Ⅰ	25			中世イギリス文学演習	1
		プレゼンテーション論Ⅱ	16			ルネサンスイギリス文学演習	4
		フィールド実習Ⅰ	35			近代イギリス文学演習A	4
		フィールド実習Ⅱ	12			近代イギリス文学演習B	4
専修科目群	文学専修	フィールド実習Ⅲ	11	文化創造専修		現代イギリス文学演習A	6
		フィールド実習Ⅳ	30			現代イギリス文学演習B	13
		フィールド実習Ⅴ	未開講			アメリカ文学演習A	未開講
		日本文学入門	44			アメリカ文学演習B	4
		英米文学入門	30			日本文化概論	32
		日本文学史	63			日本文化論講読A	23
		中国文学史	未開講			日本文化論講読B	未開講
		イギリス文学史	未開講			日本文化論演習A	18
		アメリカ文学史	未開講			日本文化論演習B	21
		比較文学	106			民俗学	86
		文学批評理論	未開講			民俗学講読	22
		日本古典文学テーマ講義	未開講			民俗文化論	20
		日本近世文学特論	23			日本史	114
		日本近代文学特論	40			日本思想史	未開講
		日本古典文学制度講義	21			書道	60
		日本近現代詩歌論	60			日本文化史	60
		中国古典文学論	20			美術史A	27
		日本神話講読	70			美術史B	34
		物語文学講読A	53			考古学	54
		物語文学講読B	46			中国文化論	35
		日本中世文学講読A	8			アジア思想史	99
		日本中世文学講読B	12			現代アジア文化論	10
		日本近世文学講読A	21			英米文化概論	103
		日本近世文学講読B	14			英米文化史A	未開講
		日本近代文学講読	70			英米文化史B	36
		日本現代文学講読	116			西洋史	未開講
		中国古典文学講読A	41			比較宗教学	52
		中国古典文学講読B	47			近現代文化論	未開講

(その2)

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
専修科目群	文化創造専修	近現代生活史	8	言語コミュニケーション専攻	英語音声学	39	
		消費社会論講読	13		検定英語ⅠA	41	
		現代社会論	55		検定英語ⅠB	41	
		現代社会論講読Ⅰ	23		検定英語ⅡA	未開講	
		現代社会論講読Ⅱ	22		検定英語ⅡB	未開講	
		現代社会論演習ⅠA	13		言語文化論	未開講	
		現代社会論演習ⅠB	13		英語言語文化論講読ⅠA	24	
		現代社会論演習ⅡA	16		英語言語文化論講読ⅠB	19	
		現代社会論演習ⅡB	10		英語言語文化論講読ⅡA	18	
		地域文化論Ⅰ	15		英語言語文化論講読ⅡB	未開講	
		地域文化論Ⅱ	未開講		英語言語文化演習ⅠA	18	
		地域文化特論	未開講		英語言語文化演習ⅠB	12	
		地域文化論講読	16		英語言語文化演習ⅡA	10	
		地域文化論演習A	9		英語言語文化演習ⅡB	11	
		地域文化論演習B	11		対照言語学	40	
		音楽文化論A	63		日本語論	83	
		音楽文化論B	68		日本語史	64	
		音楽文化特論A	31		日本語音声学・音韻論	53	
		音楽文化特論B	未開講		日本語言語文化論講読	30	
		音楽文化論演習A	未開講		日本語言語文化演習A	15	
		音楽文化論演習B	15		日本語言語文化演習B	12	
		映像文化論講読	未開講		日本語教授法	21	
		文化政策論Ⅰ	41		日本語教育実習	6	
		文化政策論Ⅱ	31		日本語教育法演習	6	
		文化政策論講読A	21		日本語教育教材論	23	
		文化政策論講読B	14		異文化コミュニケーション論	31	
		まちづくり政策論	52		留学セミナー	0	
		文化政策論演習A	10		比較文化論Ⅰ	36	
		文化政策論演習B	10		比較文化論Ⅱ	未開講	
		NPO論	74		比較文化論Ⅲ	11	
		ジェンダー論	8		比較文化論Ⅳ	15	
		ジェンダー論演習A	8		比較文化論講読A	15	
		ジェンダー論演習B	8		比較文化論講読B	19	
		文化人類学	57		比較文化論講読C	未開講	
		文化人類学講読	4		比較文化演習ⅠA	23	
		文化人類学演習A	14		比較文化演習ⅠB	13	
		文化人類学演習B	14		比較文化演習ⅡA	8	
	言語コミュニケーション専攻	日本語コミュニケーションⅠ	1		比較文化演習ⅡB	5	
		日本語コミュニケーションⅡ	未開講		比較文化演習ⅢA	2	
		中級英語リスニング	40		比較文化演習ⅢB	6	
		上級英語リスニング	33		留学A	未開講	
		中級英語スピーキング	7		留学B	未開講	
		上級英語スピーキング	19	その他	自主研修	0	
		中級英語アカデミックライティング	15		企業実習	51	
		上級英語アカデミックライティング	12	課題研究	卒業研究	83	
		英語文法・英作文A	50				
		英語文法・英作文B	49				

○看護学部 看護学科
(その1)

(平成19年3月31日現在)

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
専門基礎科目	微生物学		未開講	看護基礎科目	看護管理学	看護システム論	46
	薬理学		49			看護サービス論	45
	生化学		43			看護と政策	46
	医学の世界		43			看護教育論	3
	人体のしくみⅠ-A		43			看護管理の動向と課題	0
	人体のしくみⅠ-B		43			チーム医療実習	87
	人体のしくみⅡ-A		44			看護管理実習	46
	人体のしくみⅡ-B		44		老人看護学	老人看護学総論	49
	心のしくみ		43			老人の健康と看護	45
	人体のしくみの乱れⅠ		45			老人看護援助論	45
	人体のしくみの乱れⅡ		45			老人看護の動向と課題	5
	診断学		50			老人看護実習	45
	治療学総論		45	母性看護学	母性看護学	母性看護学総論	50
	病態と治療Ⅰ		45			母性看護対象論	45
	病態と治療Ⅱ		45			母性看護援助論	42
	健康管理論		46			母性学	45
	疫学		46			母性看護の動向と課題	未開講
	保健統計		52			母性看護実習	42
	栄養学		43	精神看護学	精神看護学	精神看護学総論	50
	社会保障と看護		43			精神の健康と看護	46
	公衆衛生学		29			精神看護援助論	42
	人間工学		0			精神看護の動向と課題	6
	行動科学		8			精神看護実習	42
	医療と経営		8	慢性期看護学	慢性期看護学	慢性期看護論	45
	保健行動論		15			慢性期援助論	46
	社会福祉法制論		0			終末期看護論	46
	社会福祉援助技術総論Ⅰ		11			慢性期看護の動向と課題	6
	臨床心理学Ⅱ		9			慢性期看護実習	42
	障害児発達学		32	看護臨床科目	急性期看護学		
看護基礎科目	基礎看護学	看護学総論	44			急性期看護論	45
		健康と看護	43			急性期援助論	46
		環境と看護	43			回復期看護論	43
		人間と看護	43			急性期看護の動向と課題	4
		看護研究方法論	47			急性期看護実習	42
		看護哲学と倫理	46				
	看護援助学	生活と看護	43	小児看護学	小児看護学	小児看護学総論	47
		生活援助論Ⅰ	43			小児の健康と看護	42
		生活援助論Ⅱ-1	43			小児看護援助論	42
		生活援助論Ⅱ-2	43			小児と疾患	43
		生活援助論Ⅲ-1	45			小児看護の動向と課題	3
		生活援助論Ⅲ-2	45			小児看護実習	43
		看護過程論	45	地域看護学	地域看護学	地域看護学総論	47
		援助関係論	43			地域の健康と看護	46
		フィジカルアセスメント	44			地域看護援助論	46
		治療援助論Ⅰ	45			在宅家族ケア	47
		治療援助論Ⅱ	46			学校保健	15
		症状と看護	45			養護概説	16
		看護援助の動向と課題	0			地域看護の動向と課題	6
		ふれあい実習	43			地域看護実習	45
		基礎看護援助実習	45				

(その2)

授 業 科 目		受講者数(人)	授 業 科 目		受講者数(人)
総合科目	バイオロジカルナーシング	7	総合科目	看護セミナーⅠ-A	0
	治療と看護	15		看護セミナーⅡ-A	15
	看護とデータ分析	16		看護セミナーⅢ-A	未開講
	看護と文化	未開講		看護セミナーⅣ-A	6
	臨床看護論Ⅰ	8		看護セミナーⅤ-A	未開講
	臨床看護論Ⅱ	0		看護セミナーⅥ-A	14
	臨床看護論Ⅲ	5		看護セミナーⅦ-A	4
	臨床看護論Ⅳ	10		看護セミナーⅧ-A	未開講
	臨床看護論Ⅴ	11		看護セミナーⅨ-A	13
	看護実践論Ⅰ	3		看護セミナーⅩⅠ-A	20
	看護実践論Ⅱ	0		看護セミナーⅠ-B	4
	看護実践論Ⅲ	1		看護セミナーⅡ-B	10
	看護実践論Ⅳ	24		看護セミナーⅢ-B	2
	看護実践論Ⅴ	13		看護セミナーⅣ-B	0
	看護実践論Ⅵ	9		看護セミナーⅤ-B	未開講
	看護実践論Ⅶ	4		看護セミナーⅥ-B	0
	看護学の動向と課題	10		看護セミナーⅦ-B	0
	最新実践看護講座Ⅰ	19		看護セミナーⅧ-B	6
	最新実践看護講座Ⅱ	8		看護セミナーⅨ-B	0
	最新実践看護講座Ⅲ	未開講		看護セミナーⅩⅠ-B	2
	最新実践看護講座Ⅳ	未開講		看護研究	46
				総合看護実習	48

○社会福祉学部 社会福祉学科

(平成19年3月31日現在)

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
基本 科目	現代生活と社会福祉		37	分野・ 領域 科目	社会保障論Ⅱ		37
	社会科学入門		38		公的扶助論Ⅱ		37
	カウンセリング論		40		児童福祉論Ⅱ		36
	社会福祉概論Ⅰ		35		障害者福祉論Ⅱ		34
	社会福祉概論Ⅱ		37		高齢者福祉論Ⅱ		37
	社会福祉援助技術総論Ⅰ		35		医療福祉論		20
	社会福祉援助技術総論Ⅱ		36		精神保健福祉論		40
	社会福祉史Ⅰ		38		国際福祉論Ⅱ		6
	社会福祉史Ⅱ		39	展 開 科 目	社会福祉入門演習Ⅰ		33
	社会福祉法制論		37		社会福祉入門演習Ⅱ		33
	社会福祉行財政論Ⅰ		40		社会福祉基礎演習Ⅰ		34
	社会福祉行財政論Ⅱ		40		社会福祉基礎演習Ⅱ		34
	地域福祉論		34		社会福祉専門演習Ⅰ-a		40
	介護概論		35		社会福祉専門演習Ⅰ-b		42
	社会福祉原理論		31		社会福祉専門演習Ⅱ-a		31
	社会保障論Ⅰ		35		社会福祉専門演習Ⅱ-b		31
	公的扶助論Ⅰ		37		社会福祉外書購読Ⅰ		未開講
	児童福祉論Ⅰ		34		社会福祉外書購読Ⅱ		3
展 開 科 目	障害者福祉論Ⅰ		35	実 習 科 目	社会福祉ふれあい実習		34
	高齢者福祉論Ⅰ		37		精神保健福祉ふれあい実習		34
	社会福祉施設経営管理論		16		社会福祉現場実習Ⅰ		36
	臨床心理学Ⅰ		5		社会福祉現場実習Ⅱ		37
	保健福祉論		15		社会福祉現場実習Ⅲ		37
	国際福祉論Ⅰ		11		精神保健福祉援助実習		17
	女性福祉論		未開講	特 論 科 目	社会福祉特論		29
	社会福祉援助技術各論Ⅰ-a		36		家族社会学		未開講
	社会福祉援助技術各論Ⅰ-b		37		地域社会学		未開講
	社会福祉援助技術各論Ⅱ-a		41		臨床心理学Ⅱ		64
	社会福祉援助技術各論Ⅱ-b		40		心理検査法		21
	社会福祉援助技術演習Ⅰ		35		母子保健論		30
	社会福祉援助技術演習Ⅱ		35		高齢者保健論		3
	社会福祉援助技術演習Ⅲ		41		障害児発達学		37
	社会福祉援助技術演習Ⅳ		39		法学		29
	精神保健福祉援助技術各論		22	関 連 科 目	精神保健学		23
	精神保健福祉援助演習		23		医学概論Ⅰ		34
	ケアマネジメント論		36		医学概論Ⅱ		34
	ケアマネジメント演習		21		精神医学		23
	事例研究法		4		精神科リハビリテーション学		40
	社会調査演習Ⅰ		未開講				
	社会調査演習Ⅱ		7				
	カウンセリング演習Ⅰ		14				
	カウンセリング演習Ⅱ		10				
	介護演習Ⅰ		32				
	介護演習Ⅱ		36				
	子育て社会支援論		17				
	福祉情報演習		17				

【 大学院 】

○看護学研究科

（平成19年3月1日現在）

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)	
看護 共通 科目	看護理論と実践		8	がん看護学	がん看護論		1	
	看護研究と実践		8		がん看護対象論		1	
	看護倫理		8		がん患者看護展開論		3	
	看護教育論		9		がん患者対応看護援助論		1	
	看護サービス管理論		8		がん看護課題研究		3	
	看護学の動向と展望		12		がん看護学実践演習Ⅰ		1	
	データ分析方法論		7		がん看護学実践演習Ⅱ		3	
	病態生理学		1		がん看護学実践演習Ⅲ		3	
	フィジカルアセスメント特論		2	小児看護学	小児看護論		—	
	こころの発達		1		小児看護対象論		—	
	保健医療政策と経済		11		小児看護展開論		1	
	看護コンサルテーション論		6		小児看護ケアの動向と展望		1	
看護 領域 科目	家族看護	家族看護論			8	小児看護課題研究		1
		家族看護援助論			8	小児看護学実践演習Ⅰ		—
		家族と病気			1	小児看護学実践演習Ⅱ		1
		家族療法			4	小児看護学実践演習Ⅲ		1
		家族ケアの動向と展望		—	慢性看護学	慢性看護論		1
		家族看護学演習		—		慢性看護対象論		—
		家族看護課題研究		—		慢性看護援助論		—
		家族看護学研究方法		—		慢性看護展開論		1
	家族看護学実践演習Ⅰ		2	慢性看護学実践演習Ⅰ			—	
	家族看護学実践演習Ⅱ		—	慢性看護学実践演習Ⅱ			1	
	家族看護学実践演習Ⅲ		—	慢性看護学実践演習Ⅲ			1	
	看護研究演習Ⅰ(家族看護研究演習)		—	慢性看護学課題研究			1	
精神看護学	精神看護論		2	看護管理学	看護管理論		2	
	精神看護対象論		2		システム経営管理論		2	
	精神看護展開論		2		看護管理展開論		2	
	精神看護方法論		3		看護管理の動向と展望		3	
	精神看護学演習		0		看護管理課題研究		0	
	精神看護課題研究		3		看護管理学実践演習Ⅰ		0	
	精神看護学実践演習Ⅰ		2		看護管理学実践演習Ⅱ		0	
	精神看護学実践演習Ⅱ		3		看護管理学実践演習Ⅲ		0	
精神看護学実践演習Ⅲ		3	看護研究演習Ⅲ(看護管理学研究演習)			0		
在宅老人看護学	老人看護論		—		看護管理学研究方法		1	
	在宅老人看護論		—	臨床看護学	成人看護ケア研究		3	
	老人看護展開論		—		家族看護ケア研究		—	
	在宅看護展開論		—		精神看護ケア研究		3	
	在宅老人ケアシステム論		—		地域看護ケア研究		3	
	地域看護論		—		小児看護ケア研究		0	
	地域看護展開論Ⅰ		—		在宅老人看護ケア研究		3	
	地域看護展開論Ⅱ		—		がん看護ケア研究		—	
	在宅ケアシステム論		—		臨床看護管理研究		3	
	在宅老人看護課題研究		—		慢性期看護ケア研究		—	
	看護研究演習Ⅱ(地域看護学研究演習)		—		臨床看護学研究演習Ⅰ		4	
	看護研究演習Ⅱ		—		臨床看護学研究演習Ⅱ		4	
	在宅老人看護学実践演習Ⅰ(老人看護学実践演習1)		—		臨床看護学研究方法Ⅰ		4	
	在宅老人看護学実践演習Ⅰ(老人看護学実践演習2)		—		臨床看護学研究方法Ⅱ		3	
	在宅老人看護学実践演習Ⅰ(老人看護学実践演習3)		—					
	在宅老人看護学実践演習Ⅱ(地域看護学実践演習1)		—					
	在宅老人看護学実践演習Ⅱ(地域看護学実践演習2)		—					
	在宅老人看護学実践演習Ⅱ(地域看護学実践演習3)		—					

○人間生活学研究科

（平成19年3月1日現在）

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
人間生活学 共通	人間生活学 共通	人間生活健康情報論	10	福祉領域 科目	福祉領域	社会福祉原論	—
		人間生活福祉政策論	10			ソーシャルワーク論	5
		人間生活文化論	10			高齢者福祉論	—
		人間生活論演習Ⅰ	10			児童福祉論	3
		人間生活論演習Ⅱ	10			障害者福祉論	5
		人間生活論演習Ⅲ	10			地域福祉論	7
		特別講義Ⅰ(人間環境論)	3			臨床福祉論	6
		特別講義Ⅱ(保健・医療・福祉制度論)	10			介護福祉論	3
		特別講義Ⅲ(文化政策論)	6			国際福祉政策論	5
		特別講義Ⅳ(生活環境論)	4			福祉行財政論	5
		特別講義Ⅴ(データ解析論)	0				
領域 科目	生活科学 領域	人間栄養論Ⅰ	—	文化領域 科目	文化領域	地域文化論Ⅰ	2
		人間栄養論Ⅱ	4			地域文化論Ⅱ	4
		食品総合科学論Ⅰ	10			日本文化論Ⅰ	1
		食品総合科学論Ⅱ	—			日本文化論Ⅱ	0
		栄養疫学論	4			英米文化論Ⅰ	1
		栄養教育特論	3			英米文化論Ⅱ	1
		住生活論	—			ジェンダー論	4
		住環境論	10				
		環境生態論	9			課題研究演習 (論文)	15
		環境解析論Ⅰ	—				
		環境解析論Ⅱ	3				

○健康生活科学研究科

（平成19年3月1日現在）

授 業 科 目			受講者数(人)	授 業 科 目			受講者数(人)
研究指導 科目	研究指導 科目	看護学特別研究Ⅰ	6	生活科学 領域 科目	生活科学 領域	人間栄養論	0
		看護学特別研究Ⅱ	6			臨床栄養論	0
		看護学特別研究Ⅲ	8			栄養生理論	0
		生活科学特別研究Ⅰ	0			保健環境論	0
		生活科学特別研究Ⅱ	1			居住環境論	0
		生活科学特別研究Ⅲ	1			環境生態論	0
		社会福祉学特別研究Ⅰ	2			医療・福祉制度論	0
		社会福祉学特別研究Ⅱ	4			臨床福祉論	0
		社会福祉学特別研究Ⅲ	0			精神障害者福祉論	—
						社会福祉原理論	6
領域研究 支援科目	看護学 領域	小児看護論Ⅰ	6	社会福祉学 領域	社会福祉学 領域	地域福祉政策論	5
		小児看護論Ⅱ	—			ノーマリゼーション論	—
		がん看護論Ⅰ	5			障害者福祉論	—
		がん看護論Ⅱ	—			障害者福祉援助論	—
		家族看護論Ⅰ	6			国際福祉比較論	—
		家族看護論Ⅱ	1				
		システム経営論Ⅰ	6	共通 科目	共通 科目	健康科学論	8
		システム経営論Ⅱ	—			健康政策論	4
		地域ケアシステム論	6			身体表現論	0
		慢性看護論	5				
		成人看護論	5				
		精神看護論	6				

3 教員免許及び国家資格の状況

(1) 教員免許申請状況

(平成19年3月31日現在)

学 部	学 科	種 類	教 科	申請者数
生活科学部	生活デザイン学科	中一種・高一種	家庭	10
	健康栄養学科	栄養一種		4
	環境理学科	中一種・高一種	理科	21
文化学部	文化学科	中一種・高一種	国語	15
		高一種	国語	1
		中一種・高一種	英語	22
		高一種	英語	1
社会福祉学部	社会福祉学科	高一種	公民	3
看護学部	看護学科	養護一種		13
合 計				90

(2) 国家資格取得状況

(平成19年3月31日現在)

国 家 資 格	区 分	受験者数	合格者数	合 格 率
保 健 師	新 卒	48	48	100.0%
	既 卒	4	4	100.0%
看 護 師	新 卒	43	41	95.3%
社会福祉士	新 卒	31	18	58.1%
精神保健福祉士	新 卒	17	16	94.1%

4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況

(1)学位授与状況

(単位:人)

研究科名	修士		博士	
	平成18年度	累計	平成18年度	累計
看護学研究科	12	86	-	-
人間生活科学研究科	15	67	-	-
健康生活科学研究科	-	-	3	21
計	27	153	3	21

【学位授与者一覧(平成18年度)】

○博士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成19年3月16日	博士(社会福祉学)	尹 棟煜	韓国における社会福祉条例に関する研究
平成19年3月16日	博士(看護学)	時長 美希	難病状態にある個人と家族に対する地域看護活動の抽出と類型化
平成19年3月16日	博士(社会福祉学)	石山 貴章	知的障害者の就労に関する雇用者の問題意識の構造

○修士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
平成19年3月19日	修士(看護学)	三浦 かず子	患者満足をもたらす看護ケアサービスの質の改善の検討
平成19年3月19日	修士(看護学)	浅井 初	発病間もない統合失調症患者の病気への関わり方
平成19年3月19日	修士(看護学)	石本 万里子	終末期がん患者を在宅で介護する家族にもたらされるEnrichment
平成19年3月19日	修士(看護学)	茅野 陽子	再発・転移がん患者と看護師との信頼関係の深まり
平成19年3月19日	修士(看護学)	近藤 恵子	地域で生活する胃全摘術後がん患者の自己概念

授与年月日	学位の種類	氏 名	論 文 名
平成19年3月19日	修士(看護学)	高樽 由美	糖尿病で視覚障害をもつ人の生活の編みなおし
平成19年3月19日	修士(看護学)	田尻 信子	終末期がん患者の在宅導入期における訪問看護師の取り組み
平成19年3月19日	修士(看護学)	早瀬 仁美	終末期がん患者の在宅への以降を支援する看護師のかかわり
平成19年3月19日	修士(看護学)	米花 紫乃	統合失調症患者の他者とのかかわりにおける折り合い
平成19年3月19日	修士(看護学)	松永 智香	臨床看護実践能力育成に関する研究 - 先輩看護師が後輩看護師を育成する力の構成要素とその影響要因
平成19年3月19日	修士(看護学)	三浦 由紀子	幼児期にある気管支喘息の子どもを持つ親が行う症状マネジメント
平成19年3月19日	修士(看護学)	吉田 裕紀子	精神科保護室における看護師のケアリング行動
平成19年3月19日	修士(社会福祉学)	岩城 慎人	非行克服過程についての社会福祉学的考察 - 児童自立支援施設での非行克服実践の意義と限界 -
平成19年3月19日	修士(学術)	伊東 聖隆	四国遍路の研究 - 土佐における補陀落渡海と辺地信仰 -
平成19年3月19日	修士(社会福祉学)	住友 芳美	ケアマネジメントを用いた地域生活支援に関する研究 - 精神障害当事者の生活変容に焦点をあてて -
平成19年3月19日	修士(社会福祉学)	岡崎 和美	ファミリーサポートセンターの現状と課題 - こうちファミリー・サポート・センターを事例として -
平成19年3月19日	修士(学術)	中山 泰弘	中世から近世の土佐国における高野山信仰
平成19年3月19日	修士(学術)	明崎 禎輝	書字能力に対する客観的評価方法の考察 - Optical Character Recognition評価法の有用性 -
平成19年3月19日	修士(生活科学)	荒牧 礼子	野菜摂取行動変容に向けた新たなアプローチ - 健康維持を目的として -
平成19年3月19日	修士(社会福祉学)	池 つた江	介護保険導入に伴う介護職員の意識の変容とケアへの影響 - 特別養護老人ホーム介護職員への聞き取り調査の質的分析から -
平成19年3月19日	修士(生活科学)	植田 和美	ビタミンB ₁₂ 供給源となる食品の摂取頻度と加熱調理による損失率
平成19年3月19日	修士(学術)	片山 一男	ヒト血漿アミノグラムのスケール化に関する検討 - アミノ酸パターンの栄養アセスメントへの応用 -

授与年月日	学位の種類	氏 名	論 文 名
平成19年3月19日	修士(学術)	加藤 真実	「国語総合」教科書における採録教材の分析から見た国語科教育の現状と課題
平成19年3月19日	修士(学術)	佐藤 桐子	ハマボスの染色体進化と地理分布 - 大隅諸島およびトカラ列島について -
平成19年3月19日	修士(学術)	隅田 道代	「ふつうの子」の不適応予防に活用できる情報を得るための研究 - 子ども(中学生)の自己実現を支える保護者への支援に注目して -
平成19年3月19日	修士(学術)	富田 豊	運動の促進を目的とした電子メールの可能性
平成19年3月19日	修士(学術)	吉本 好延	精神病院における行動科学的アプローチを用いた運動療法の効果 - 転倒予防を目的とした運動環境の構築 -

(2)大学賞・学長賞授与状況

【大学賞】

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
生活科学部	生活デザイン学科	4	1名	「ユニバーサルファッション・プロジェクト」の立ち上げと実行委員長としての地域貢献
生活科学部	生活デザイン学科	4	1名	日本建築学会四国支部長賞授賞、ファッションショーにおける地域貢献
社会福祉学部	社会福祉学科	4	1名	聴覚障害のハンディキャップを物ともせず、他学生の模範となり、優秀な成績を修めた
社会福祉学部	社会福祉学科	4	1名	児童福祉の分野を中心にボランティア活動に積極的に取り組み地域貢献に寄与した
大 学 院	人間生活学研究科	2	1名	精神病院における行動科学アプローチを用いた運動療法の効果

【学長賞】

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
生活科学部	生活デザイン学科	4	2名	日本建築学会での発表において、好評価を頂いた点
生活科学部	生活デザイン学科	3	4名	高知県建築デザインコンペにおける(社)日本建築士事務所協会連合会 会長賞を受賞
生活科学部	健康栄養学科	1	1名	インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト入賞
文化学部	文化学科	3	1名	インカレ・水泳50mバタフライ1位
文化学部	文化学科	3	1名	インカレ・水泳100m、200m自由形1位

(3) サティフィケーション授与状況

職 名	氏 名	内 容	招聘者(学部)
ウランバートル第23番外国語教育特別学校学生	TUDEVDORJ ENKHMAA	平成18年5月18日～7月20日 高知女子大学での短期体験聴講修了	高知女子大学 (国際交流委員会)
	CHULUUNBAATAR MUNKHNAVCH		
	DAMJIRAN KHULAN		
	PUREVDORJ DULGUUN		
エルムズ大学 学生	Edward Louis Manley	平成18年5月24日～8月21日 学期留学プログラム修了	高知女子大学 (国際交流委員会)
モンゴル国立科学技術大学 日本語科・日本語教師	BATMUNKH ERDENECHULUUN	平成18年9月28日～11月30日 高知女子大学での短期体験聴講修了	高知女子大学 (国際交流委員会)
ウランバートル・モンゲニ統合学校 日本語科・日本語教師	ZORIGT AZZAYA		
ウランバートル・トリ学校 日本語科・日本語教師	ENKHTUR YANJINDULAM		
モンゴル国立大学国際関係学科	DOVCHIN UNUZAYA		
モンゴル国立科学技術大学 日本語別科	TSERENJAV OYUNDELGER		
アフガニスタン女性省サマンガン州女性局	Hanifa Ashna	平成18年11月27日～12月11日 JICA事業高知女子大学プロジェクトによる研修修了「女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成コース」	JICA事業高知女子大学プロジェクト 事業統括 水谷洋一
ガーナ家族計画協会(NGO)	Mary Asarebea Atakora		

職 名	氏 名	内 容	招聘者(学部)
ホンジュラス エル・アユダンテ (NGO)	Johannab Florencia Quiroz Martinez	平成18年11月27日～ 12月11日 JICA事業高知女子大 学プロジェクトによる 研修修了「女性の生 活と地位向上に寄与 するリーダーの養成 コース」	JICA事業高知女子大 学プロジェクト 事業統括 水谷洋一
イラン農業省普及部地方女性局	Shohreh Soltani Khanekahdani		
ネパール女性支援局	Ratna Mani Bhattarai		
ニウエ地域担当局	Fapoi Akesi		
パラオ社会文化賞パラオ女性人材セ ンター	Maria Goretti Masayos		
タイ労働者保護福祉局	Ukrisdh Musicpunth		
Syiah Kwala University	Dra.Herawati linte Muhammad Gain	平成18年12月9日永 国寺キャンパスで講 演 「インドネシア・スマトラ 島アチェの生活文化 と自然 - スマトラ沖地 震をのりこえて - 」	松本 由香 (生活科学部)
	Lecturer Syafwina		

5 FD活動実施状況(平成18年度)

学 部	演 題	講 師	年月日
生活科学部	大学「全入」時代への対応 - 同志社女子大学そして生活科学部の取り組み	西村 公雄 氏 (同志社女子大学生活科学部長)	H18.9.25
文化学部	第12回FDフォーラム「学生が伸びる教育」参加	-	H19.3.4
看護学部	高知女子大学中長期計画を通してscholarとしての責務を果たすとは	青山 英康 氏 (高知女子大学学長)	H18.12.4
	高知女子大学看護学部の生き残り	野嶋 佐由美 氏 (高知女子大学看護学部長)	H18.12.11
	高知女子大学看護学部の専門職集団としての責務	野嶋 佐由美 氏 (高知女子大学看護学部長)	H19.1.22
	法人化された公立看護大学学長の大学改革への取り組みと課題～FD活動がscholarにもたらしている圧力とそれをパワーに変換する妙薬を求めて～	中島 紀恵子 氏 (新潟県立看護大学学長)	H19.2.22
	大学教育において要請される教育者像	鈴木 志津枝 氏 (高知女子大学看護学部教授)	H19.3.9
	学術世界(各学会)の動きと高知女子大学	高知女子大学看護学部助教授及び講師	H19.3.9 H19.3.26
社会福祉学部	「社会福祉士養成教育と社会福祉士試験」研修会	-	H18.4.22
	「社会福祉援助技術演習・実習の教授法・教材活用」全国研修	-	H18.9.23 ～ 9.24
	全国社会福祉教育セミナー	-	H18.11.4 ～ 11.5
	公立大学協会社会福祉学系部会	-	H18.11.5

5 学 生

1 行事実績 (平成18年度)

平成18年

4月 7日(金)	入学式
4月12日(水)	前期授業開始
4月21日(金)	創立記念日・新入生の集い
5月18日(木)	前期定例学生大会
6月30日(金)～7月2日(日)	四国地区大学総合体育大会
7月 5日(水)	入試担当者説明会
7月18日(火)～31日(月)	前期末試験・補講期間
8月 1日(火)～9月16日(土)	夏期休業期間
8月 1日(火)	オープンキャンパス
9月17日(日)	看護学部・文化学部3年次編入学試験
9月17日(日)～18日(月)	大学院第1次入学試験
9月19日(火)～30日(土)	集中授業期間
10月 2日(月)	後期授業開始
10月21日(土)～22日(日)	大学祭
11月18日(土)	推薦入学試験、社会福祉学部3年次編入学試験、 環境理学科AO入学試験
11月19日(日)	生活デザイン学科・環境理学科3年次編入学試験
12月 7日(木)	後期定例学生大会、防火訓練
12月16日(土)～23日(土)	集中授業期間
12月25日(月)～平成19年 1月 7日(日)	冬期休業期間

平成19年

1月 8日(月)～14日(日)	集中授業期間
1月15日(月)	授業開始
1月20日(土)～21日(日)	大学入試センター試験
2月 4日(日)	大学院第2次入学試験
2月 5日(月)～16日(金)	後期末試験・補講期間
2月19日(月)～3月20日(月)	集中授業期間
2月25日(土)～26日(日)	一般選抜入学試験(前期日程)
3月12日(月)	一般選抜入学試験(後期日程)
3月16日(金)	博士論文発表会・学位授与式(博士)
3月19日(月)	卒業式・学位授与式(修士)
3月21日(水)～4月5日(木)	春期休業期間

2 入学の状況

(1)学部(推薦・個別・私費外国人留学生・編入)・大学院別の入学状況(平成18年度)

【学部】

○推薦

(単位:人)

学部 区分	生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
募集人員 (a)	11	20	10	10	51
志願者数 (b)	26	27	22	23	98
倍率 (b / a)	(2.4)	(1.4)	(2.2)	(2.3)	(1.9)
受験者数 (c)	26	27	22	23	98
倍率 (c / a)	(2.4)	(1.4)	(2.2)	(2.3)	(1.9)
合格者数 (d)	9	20	11	10	50
倍率 (c / d)	(2.9)	(1.4)	(2.0)	(2.3)	(2.0)
入学者数	9	20	11	10	50

推薦は県内のみ

○AO入試

(単位:人)

学部 区分	生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
募集人員 (a)	2	-	-	-	2
志願者数 (b)	1	-	-	-	1
倍率 (b / a)	(0.5)	(-)	(-)	(-)	(0.5)
受験者数 (c)	1	-	-	-	1
倍率 (c / a)	(0.5)	(-)	(-)	(-)	(0.5)
合格者数 (d)	1	-	-	-	1
倍率 (c / d)	(1.0)	(-)	(-)	(-)	(1.0)
入学者数	1	-	-	-	1

○ 個 別

(単位:人)

学 部 区分		生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
募 集 人 員 (a)		47	60	30	20	157
志願者数 (b)	県 内	23	112	47	37	219
	県 外	101	577	106	259	1043
	計	124	689	153	296	1262
倍率 (b / a)		(2.6)	(11.5)	(5.1)	(14.8)	(8.0)
受験者数 (c)	県 内	23	110	38	29	200
	県 外	92	544	79	192	907
	計	115	654	117	221	1107
倍率 (c / a)		(2.4)	(10.9)	(3.9)	(11.1)	(7.1)
合格者数 (d)	県 内	9	12	12	11	44
	県 外	51	125	20	16	212
	計	60	137	32	27	256
倍率 (c / d)		(1.9)	(4.8)	(3.7)	(8.2)	(4.3)
入学者数	県 内	9	6	12	10	37
	県 外	40	60	20	13	133
	計	49	66	32	23	170

○私費外国人留学生

(単位:人)

学 部 区分	生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
志願者数	0	0	0	1	1
受験者数	0	0	0	1	1
合格者数	0	0	0	0	0
入学者数	0	0	0	0	0

○3年次編入

(単位:人)

学 部 区分		生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
募 集 人 員 (a)		4	5	4	3	16
志願者数 (b)	県 内	2	1	6	8	17
	県 外	0	2	11	2	15
	計	2	3	17	10	32
倍率 (b / a)		(0.5)	(0.6)	(4.3)	(3.3)	(2.0)
受験者数 (c)	県 内	2	1	6	7	16
	県 外	0	1	10	2	13
	計	2	2	16	9	29
倍率 (c / a)		(0.5)	(0.4)	(4.0)	(3.0)	(1.8)
合格者数 (d)	県 内	0	1	1	2	4
	県 外	0	1	3	1	5
	計	0	2	4	3	9
倍率 (c / d)		(-)	(-)	(4.0)	(3.0)	(3.2)
入学者数	県 内	0	1	1	2	4
	県 外	0	1	3	1	5
	計	0	2	4	3	9

【大学院】

(単位:人)

研究科 区分		看護学研究科	人間生活学研究科	健康生活科学研究科	計
募集人員 (a)		10	18	6	34
志願者数 (b)	県内	7	8	2	17
	県外	5	4	8	17
	計	12	12	10	34
倍率 (b/a)		(1.2)	(0.7)	(1.7)	(1.0)
受験者数 (c)	県内	7	8	2	17
	県外	5	4	8	17
	計	12	12	10	34
倍率 (c/a)		(1.2)	(0.7)	(1.7)	(1.0)
合格者数 (d)	県内	7	6	2	15
	県外	4	4	6	14
	計	11	10	8	29
倍率 (c/d)		(1.1)	(1.2)	(1.3)	(1.2)
入学者数	県内	7	6	2	15
	県外	4	4	6	14
	計	11	10	8	29

◆学部(推薦・個別・私費外国人留学生・3年次編入)入学状況一覧(平成18年度)

(単位:人)

学部・学科名		区 分		募集 人員	志願者数		受験者数A		合格者数B		追加合格者数		入学者数		受験倍率 A/B
					全体	(県内)	全体A	(県内)	全体B	(県内)	全体	(県内)	全体	(県内)	
生活科学部	生活デザイン学科	推薦	一般	3	5	5	5	5	3	3			3	3	1.7
			専門	1	0	0	-	-	-	-			-	-	
		個別	前期	16	43	9	38	9	21	3			18	3	1.8
			3年次編入	2	2	2	2	2	0	0			-	-	
		計		22	50	14	43	14	24	6			21	6	1.8
	健康栄養学科	推薦	一般	4	19	19	19	19	4	4			4	4	4.8
			専門	1	0	0	-	-	-	-			-	-	
		計		20	78	28	77	28	24	5			21	5	3.2
	環境理学科	推薦	一般	3	2	2	2	2	2	2			2	2	1.0
			AO	2	1	0	1	0	1	0			1	0	1.0
		個別	前期	15	22	5	19	5	19	5			14	5	1.0
			私費外国人留学生	若干人	0	0	-	-	-	-			-	-	
		3年次編入		2	0	0	-	-	-	-			-	-	
		計		20	25	7	22	7	22	7			17	7	1.0
	小計	推薦	一般	10	26	26	26	26	9	9			9	9	2.9
			専門	1	0	0	-	-	-	-			-	-	
		AO		2	1	0	1	0	1	0			1	0	1.0
		個別	前期	47	124	23	115	23	60	9			49	9	1.9
			私費外国人留学生	若干人	0	0	-	-	-	-			-	-	
		3年次編入		4	2	2	2	2	0	0			-	-	
		計		64	153	51	144	51	70	18			59	18	2.1
文化学部	文化学科	推薦	一般	20	27	27	27	27	20	20			20	20	1.4
			前期	50	314	56	279	54	94	7			64	6	3.0
		個別	後期	10	375	56	375	56	43	5			2	0	8.7
			私費外国人留学生	若干人	0	0	-	-	-	-			-	-	
		3年次編入		5	3	1	2	1	2	1			2	1	1.0
看護学部	看護学科	計		85	719	140	683	138	159	33	0	0	88	27	4.3
	看護学科	推薦	一般	10	22	22	22	22	11	11			11	11	2.0
			前期	26	76	27	72	27	28	11			28	11	2.6
		個別	後期	4	77	20	45	11	4	1			4	1	11.3
			私費外国人留学生	若干人	0	0	-	-	-	-			-	-	
社会福祉学部	社会福祉学科	3年次編入		4	17	6	16	6	4	1			4	1	4.0
		計		44	192	75	155	66	47	24	0	0	47	24	3.3
	社会福祉学科	推薦	一般	9	22	22	22	22	9	9			9	9	2.4
			専門	1	1	0	1	0	1	0			1	0	1.0
		個別	前期	17	138	21	125	19	22	11			20	10	5.7
			後期	3	158	16	96	10	5	0			3	0	19.2
		私費外国人留学生		若干人	1	1	1	1	0	0			-	-	
		3年次編入		3	10	8	9	7	3	2			3	2	3.0
合計	合計	計		33	330	67	254	58	40	22			36	21	6.4
		推薦	一般	49	97	97	97	97	49	49			49	49	2.0
			専門	2	1	0	1	0	1	0			1	0	1.0
		AO		2	1	0	1	0	1	0			1	0	1.0
		個別	前期	140	652	127	591	123	204	38			161	36	2.9
			後期	17	610	92	516	77	52	6			9	1	9.9
		私費外国人留学生		若干人	1	1	1	1	0	0			-	-	
		3年次編入		16	32	17	29	16	9	4			9	4	3.2
合計	合計	計		226	1,394	333	1,236	313	316	97	0	0	230	90	3.9

◆年次別学部（推薦・個別・私費外国人留学生）入学状況（平成13～18年度）

(単位：人)

学部・学科名	区分	平成18年度							平成17年度							平成16年度							平成15年度							平成14年度							平成13年度						
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率						
生活科学部	生活デザイン学科	推薦	一般	3	5	5	3	3	1.7	3	4	4	4	4	1.0	3	7	7	3	3	2.3	3	14	14	3	3	4.7	3	11	11	3	3	3.7	4	12	12	4	4	3.0				
			専門	1	0					1	1	1	1	1	1.0	1	3	3	1	1	3.0	1	1	1	1	1	1.0	1	1	1	1	1	1.0										
		個別	計	4	5	5	3	3	1.7	4	5	5	5	5	1.0	4	10	10	4	4	2.5	4	15	15	4	4	3.8	4	12	12	4	4	3.0	4	12	12	4	4	3.0				
			前期	16	43	38	21	18	2.0	16	81	73	23	22	3.5	16	65	58	22	18	3.0	16	57	48	23	21	2.5	16	56	50	25	23	2.2	16	60	55	23	18	2.6				
			後期																																								
		計	20	48	43	24	21	2.0	20	86	78	28	27	3.1	20	75	68	26	22	2.9	20	72	63	27	25	2.7	20	68	62	29	27	2.3	20	72	67	27	22	2.7					
	健康栄養学科	推薦	一般	4	19	19	4	4	4.8	4	20	20	5	5	4.0	4	17	17	4	4	4.3	4	22	22	4	4	5.5	4	22	21	4	4	5.5	4	23	23	4	4	5.8				
			専門	16	59	58	20	17	3.0	16	71	63	18	16	3.9	16	103	95	21	21	4.9	16	82	72	22	20	3.7	16	84	74	22	19	3.8	16	86	76	22	19	3.9				
		個別	前期																																								
			後期																																								
		計	20	78	77	24	21	3.3	20	91	83	23	21	4.0	20	120	112	25	25	4.8	20	104	94	26	24	4.0	20	106	95	26	23	4.1	20	109	99	26	23	4.2					
	環境理学科	推薦	一般	3	2	2	2	2	1.0	3	7	7	3	3	2.3	3	4	4	3	3	1.3	3	6	6	3	3	2.0	3	1	1	1	1	1.0	3	4	4	3	3	1.3				
			専門	2	1	1	1	1	1.0																																		
		個別	前期	15	22	19	19	14	1.2	17	58	54	26	18	2.2	17	106	86	24	17	4.4	17	167	150	42	36	4.0	17	73	61	32	22	2.3	17	105	89	27	19	3.9				
			後期																																								
			私費外国人留学生	若干人	0	0	0	0		若干人	0	0	0	0																													
		計	20	25	22	22	17	1.1	20	65	61	29	21	2.2	20	110	90	27	20	4.1	20	173	156	45	39	3.8	20	74	62	33	23	2.2	20	109	93	30	22	3.6					
	小計	推薦	一般	10	26	26	9	9	2.9	10	31	31	12	12	2.6	10	28	28	10	10	2.8	10	42	42	10	10	4.2	10	34	33	8	8	4.3	11	39	39	11	11	3.5				
			専門	1	0	0	0	0		1	1	1	1	1	1.0	1	3	3	1	1	3.0	1	1	1	1	1	1.0	1	1	1	1	1	1.0										
		個別	計	11	26	26	9	9	2.9	11	32	32	13	13	2.5	11	31	31	11	11	2.8	11	43	43	11	11	3.9	11	35	34	9	9	3.9	11	39	39	11	11	3.5				
			前期	2	1	1	1	1	1.0																																		
			後期	47	124	115	60	49	2.1	49	210	190	67	56	3.1	49	274	239	67	56	4.1	49	306	270	87	77	3.5	49	213	185	79	64	2.7	49	251	220	72	56	3.5				
		私費外国人留学生	若干人	0	0	0	0		若干人	0	0	0	0																														
		計	60	151	142	70	59	2.2	60	242	222	80	69	3.0	60	305	270	78	67	3.9	60	349	313	98	88	3.6	60	248	219	88	73	2.8	60	290	259	83	67	3.5					
文化学部	文化学科	推薦	一般	20	27	27	20	20	1.4	20	29	29	20	20	1.5	20	34	34	20	20	1.7	20	36	36	21	21	1.7	20	38	38	21	21	1.8	20	32	32	20	20	1.6				
			専門	50	314	279	94	64	3.3	50	244	207	83	50	2.9	50	223	196	81	52	2.8	50	225	201	73	50	3.1	50	289	264	78	56	3.7	50	153	132	86	71	1.8				
		個別	前期	10	375	375	43	2	8.7	10	352	352	141	16	2.5	10	184	184	74	12	2.5	10	171	171	60	12	2.9	10	197	197	36	5	5.5	10	143	143	23	5	6.2				
			後期																																								
			私費外国人留学生	若干人	0	0	0	0		若干人	0	0	0	0		若干人	0	0	0	0		若干人	0	0	0	0																	
計	80	716	681	157	86	4.6	80	625	588	244	86	2.6	80	441	414	175	84	2.5	80	432	408	154	83	2.8	80	524	499	135	82	3.9	80	328	307	129	96	2.5							
看護学部	看護学科	推薦	一般	10	22	22	11	11	2.0	10	27	25	10	10	2.7	10	30	30	10	10	3.0	10	20	20	10	10	2.0	10	26	26	10	10	2.6	9	29	29	9	9	3.2				
			専門	-						1	0	0	0	0	#DIV/0!	1	2	2	1	1	2.0	1	1	1	1	1	1.0	1	2	2	1	1	2.0	1	2	2	1	1	2.0				
		個別	計	10	22	22	11	11	2.0	11	27	25	10	10	2.7	11	32	32	11	11	2.9	11	21	21	11	11	1.9	11	28	28	11	11	2.5	10	31	31	10	10	3.1				
			前期	26	76	72	28	28	2.7	25	131	121	31	30	4.2	25	138	121	31	28	4.5	25	172	153	31	26	5.5	25	123	117	27	26	4.6	25	107	98	31	29	3.5				
			後期	4	77	45	4	4	19.3	4	171	91	4	4	42.8	4	92	48	4	4	23.0	4	154	84	4	4	38.5	4	91	56	4	4	22.8	5	178	96	5	5	35.6				
		私費外国人留学生	若干人	0	0	0	0		若干人	0	0	0	0		若干人	1	0	0	0		若干人	1	1	0	0																		
		計	40	175	139	43	43	4.1	40	329	237	45	44	7.3	40	263	201	46	43	5.7	40	348	259	46	41	7.6	40	242	201	42	41	5.8	40	316	225	46	44	6.9					
社会福祉学部	社会福祉学科	推薦	一般	9	22	22	9	9	2.4	9																																	

(2) 年次別高知県内高等学校出身入学状況(平成14～18年度)

(単位:人)

地区別	学校名	平成18年度								平成17年度								平成16年度								平成15年度								平成14年度										
		推薦			入学者	個別			入学者計	推薦			入学者	個別			入学者計	推薦			入学者	個別			入学者計	推薦			入学者	個別			入学者計											
志願者	受験者	合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者		合格者	志願者	受験者	合格者							
高知市	高知大学附属養護	0				0				0									0									0										0						
	高知東	4	4	1	1	0				1	7	7	2	2	1	1			2	4	4	2	2					2	2	2	1	1				1	3	1	1	1	0	0	1	
	高知追手前	1	1	0		37	37	9	9	9	2	2	1	1	26	25	4	3	4	3	3	1	1	37	33	9	5	6	4	4	1	1	34	23	6	6	7	8	1	1	29	8	7	8
	高知丸の内	2	2	1	1	0				1	9	9	1	1				1	5	5	1	1	6	6			1	4	4	1	1	1	1			1	5	2	2	1	0	0	2	
	高知小津	10	10	4	4	27	27	5	4	8	7	7	5	5	47	40	7	7	12	8	8	6	6	14	14	4	4	10	8	8	6	6	10	8	2	2	8	10	6	6	27	2	2	8
	高知西	11	11	11	11	27	26	3	3	14	7	7	4	4	22	21	4	2	6	11	11	5	5	22	22	5	5	10	11	11	4	4	49	38	7	7	11	11	4	4	50	6	6	10
	高知北	1	1	0		1	1	0		0	2	2						0	1	1	0	0	1	1			0	2	2	1	1							2	0	0	0	0		
	高知工業	0				0				0	1	1	1	1				1					1	1			0														0	0		
	高知商業	0				0				0	2	2	1	1				1	3	3	0	0	1	1			0	2	2	1	1											0	0	
	高知南	7	7	2	2	9	9	0		2	8	8	4	4	5	5			4	10	10	5	5	8	8	1	1	6	11	11	5	5	11	10	2	2	7	7	5	5	3	0	0	5
	盲	0				0				0									0									0														0	0	
	高知ろう	0				0				0									0									0	1	1	1	1											0	0
高知江の口養護	0				0				0									0									0															0	0	
室戸市	室戸	2	2	2	2	0			2	4	4							0	2	2	1	1	1	1			1	5	5			2	2			0	3	1	1				1	
安芸市	安芸	6	6	4	4	11	11	2	2	6	3	3	1	1	4			1	9	9	3	3	14	13	2	2	5	4	4	3	3	7	6			3	7	6	6	10	1	1	7	
	安芸工業	0				0				0								0									0																0	0
南国市	高知工業高専	0				0				0								0									0																0	0
	高知農業	0				0				0	1	1	1	1				1									0															0	0	
	高知東工業	0				0				0								0									0															0	0	
	岡豊	8	8	3	3	1	1	0		3	5	5	3	3	2	2		3	7	7	6	6	1	1			6	9	9	2	2	3	2			2	5	4	4	1	0	0	4	
土佐市	高岡	1	1	1	1	0			1					1	1			0	1	1	1	1					1	2	2	1	1				1	1	0	0					0	0
	高知海洋	0				0			0									0									0	1	1	1	1												0	0
須崎市	須崎	3	3	1	1	5	5	0		1	7	7	4	4	2	2		4	6	6	1	1	4	3	1	1	2	10	10	6	6	10	9	1	1	7	6	4	4	16	3	3	7	
	須崎工業	0				0				0								0									0																0	0
四万十市	中村	5	5	2	2	3	3	2	2	4	9	9	6	6	4	4		6	8	8	3	3	18	15	2	2	5	11	11	6	6	9	6	1	1	7	7	4	4	7	2	2	6	
	幡多農業	0				0				0								0	1	1	0	0					0																0	0
	中村養護	0				0				0								0									0																0	0
宿毛市	宿毛	2	2	0		0			0	3	1	1	1	1	1	1		1	6	6	1	1					1	3	3	1	1					1	7	5	5	1	0	0	5	
	宿毛工業	0				0			0									0									0																0	0
土佐清水市	清水	2	2	1	1	0			1	4	4			4	3			0	2	2	1	1					1	4	4	2	2	2	2	1	1	3	5	0	0	4	0	0	0	
安芸郡	中芸	1	1	0		0			0	3	3	2	2		2			2	1	1	1	1					1	1	1	1	1					1	2	1	1				1	
香美郡	城山	0				0				0								0									0																0	0
	山田	2	2	1	1	5	5	0		1	4	4	3	3	1	1		3	5	5	2	2	2	2			2	4	4			3	3	1	1	1	1	0	0	3	0	0	0	0
	大栃	1	1	1	1	0				1	1	1	1	1				1									0									0	1	0	0				0	0
	山田養護	0				0				0								0									0																0	0
長岡郡	嶺北	2	2	0		1	1	0		0	3	3	1	1	1	1	1	2									0					1	1			0	1	0	0	2	0	0	0	0
吾川郡	伊野商業	0				0																																						

(3)出身地別の入学状況(平成18年度)

【学部】

○個別

(単位:人)

学部	生活科学部				文化学部		看護学部		社会福祉学部		合 計		
学科	生 活 デザイン	健康 栄養	環境理	小計	文 化		看 護		社会福祉				
区分	前期	前期	前期	前期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	計
北海道				0							0	0	0
青森				0							0	0	0
岩手				0							0	0	0
宮城				0							0	0	0
秋田				0							0	0	0
山形				0	2						2	0	2
福島				0							0	0	0
茨城			1	1							1	0	1
栃木				0							0	0	0
群馬				0							0	0	0
埼玉				0							0	0	0
千葉	1			1							1	0	1
東京				0							0	0	0
神奈川				0	1						1	0	1
新潟				0							0	0	0
富山		1		1							1	0	1
石川				0	1						1	0	1
福井				0	1		1				2	0	2
山梨				0			1				1	0	1
長野				0						1	0	1	1
岐阜				0							0	0	0
静岡	2			2							2	0	2
愛知			1	1							1	0	1
三重				0							0	0	0
滋賀		1		1			1				2	0	2
京都				0	2						2	0	2
大阪				0							0	0	0
兵庫	1	4		5	5		3				13	0	13
奈良				0							0	0	0
和歌山		1		1							1	0	1
鳥取				0	4		1		1		6	0	6
島根	1			1	4	1					5	1	6
岡山	2	1	2	5	6	1	3		3		17	1	18
広島	3	1	1	5	7		2				14	0	14
山口				0							0	0	0
徳島	1	2		3	8		1		2		14	0	14
香川		1		1	5		1	1	1		8	1	9
愛媛		1	2	3	6	1	2		1		12	1	13
高知	3	1	5	9	6		11	1	10		36	1	37
福岡	1	2		3							3	0	3
佐賀				0							0	0	0
長崎	1			1			1		1		3	0	3
熊本	1			1							1	0	1
大分				0	3					1	3	1	4
宮崎			2	2			1				3	0	3
鹿児島	1			1	3						4	0	4
沖縄		1		1				2			1	2	3
合計	18	17	14	49	64	3	29	4	19	2	161	9	170

○推 薦

(単位:人)

学部	生活科学部				文化学部	看護学部	社会福祉学部	合 計
学科	生 活 デザイン	健康 栄養	環境理	小計	文 化	看 護	社会福祉	
高知	3	4	2	9	20	11	9	49
愛媛	-	-	-	-	-	-	1	1
合計	3	4	2	9	20	11	10	50

○AO入試

(単位:人)

学部	生活科学部				文化学部	看護学部	社会福祉学部	合 計
学科	生 活 デザイン	健康 栄養	環境理	小計	文 化	看 護	社会福祉	
愛知	-	-	1	1	-	-	-	1

○3年次編入

(単位:人)

学部	生活科学部				文化学部	看護学部	社会福祉学部	合 計
学科	生 活 デザイン	健康 栄養	環境理	小計	文 化	看 護	社会福祉	
長野						1		1
兵庫						1		1
岡山						1		1
徳島					1			1
高知					1	1	2	4
熊本							1	1
合計	0	0	0	0	2	4	2	9

【 大学院 】

(単位:人)

研究科	看 護 学 科 研 究 科	人間生活学 研 究 科	健康生活科学 研 究 科	合 計
東京	1			1
埼玉			1	1
神奈川	1			1
大阪			1	1
岡山	1	1	1	3
広島			2	2
香川	1	1	1	3
愛媛		1		1
高知	7	6	2	15
山口		1		1
合計	11	10	8	29

3 学生数

(平成18年4月1日現在) 単位：人

学部・学科		入学 定員	1 回生			2 回生			3 回生			4 回生			合計		
			県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計	県内	県外	計
生活科学部	生活デザイン学科	20	6	15	21	5	22	27	8	14	22	11	15	26	30	66	96
	健康栄養学科	20	5	16	21	7	14	21	5	20	25	8	16	24	25	66	91
	環境理学科	20	7	10	17	3	17	20	4	16	20	4	32	36	18	75	93
	小計	60	18	41	59	15	53	68	17	50	67	23	63	86	73	207	280
文化学部	文化学科	80	26	60	86	29	56	85	37	45	82	34	60	94	126	221	347
	編入生				0			0	1	1	2			0	1	1	2
	小計		26	60	86	29	56	85	38	46	84	34	60	94	127	222	349
看護学部	看護学科	40	23	20	43	17	27	44	25	18	43	18	27	45	83	92	175
	編入生				0			0	1	3	4	2	3	5	3	6	9
	小計		23	20	43	17	27	44	26	21	47	20	30	50	86	98	184
社会福祉学部	社会福祉学科	30	19	14	33	15	18	33	17	19	36	17	16	33	68	67	135
	編入生				0			0	2	1	3	2	0	2	4	1	5
	私費留学生				0		1	1			0			0	0	1	1
	小計		19	14	33	15	19	34	19	20	39	19	16	35	72	69	141
学部生計	学部合計（編入生除く）	210	86	135	221	76	154	230	96	132	228	92	166	258	350	587	937
	編入生		0	0	0	0	0	0	4	5	9	4	3	7	8	8	16
	私費留学生		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	学部合計		86	135	221	76	155	231	100	137	237	96	169	265	358	596	954
大学院	看護学研究科	10	7	4	11	7	8	15							14	12	26
	人間生活学研究科	18	6	4	10	24	5	29							30	9	39
	健康生活学研究科	6	2	6	8	1	6	7	11	5	16				14	17	31
大学院生計	大学院合計	34	15	14	29	32	19	51	11	5	16	0	0	0	58	38	96
合 計		244	101	149	250	108	174	282	111	142	253	96	169	265	416	634	1,050

4 休学・退学・長期履修者及び単位互換の状況

(1) 年次別休学者数

(単位:人)

区 分		H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
生活科学部	生活デザイン学科	0	3	3	1	1
	健康栄養学科	4	1	1	2	3
	環境理学科	1	1	1	0	2
	小 計	5	5	5	3	6
文化学部	文化学科 (英文・国文学科含む)	10	14	18	13	17
看護学部	看護学科	3	4	3	3	1
社会福祉学部	社会福祉学科	4	4	5	3	2
学 部 合 計		22	27	31	22	26
大 学 院	看護学研究科	2	2	2	2	2
	人間生活学研究科	3	11	14	8	0
	健康生活学研究科	2	6	6	7	0
大 学 院 合 計		7	19	22	17	2
合 計		29	46	53	39	28

(2) 年次別退学者数

(単位:人)

区 分		H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
生活科学部	生活デザイン学科	0	2	2	1	1
	健康栄養学科	2	0	2	1	1
	環境理学科	1	1	3	1	0
	小 計	3	3	7	3	2
文化学部	文化学科 (英文・国文学科含む)	3	5	8	7	10
看護学部	看護学科	1	1	2	1	0
社会福祉学部	社会福祉学科	0	1	1	0	0
学 部 合 計		7	10	18	11	12
大 学 院	看護学研究科	1	0	1	1	0
	人間生活学研究科	1	3	2	1	0
	健康生活学研究科	1	4	1	1	0
大 学 院 合 計		3	7	4	3	0
合 計		10	17	22	14	12

(3) 長期履修者数 (平成19年3月1日現在)

(単位:人)

区 分		5年	6年	7年	8年	計
生活科学部	生活デザイン学科	1	1	0	0	2
	健康栄養学科	0	1	0	0	1
	環境理学科	1	0	0	0	1
	小 計	2	2	0	0	4
文化学部	文化学科	7	3	4	1	15
看護学部	看護学科	4	0	0	0	4
社会福祉学部	社会福祉学科	1	1	0	0	2
学 部 合 計		14	6	4	1	25

(単位:人)

区 分		3年	4年	5年	6年	計
大学院	看護学研究科	3	0	0	0	3
	人間生活学研究科	2	2	4	2	10
	健康生活学研究科	0	8	3	1	12
大 学 院 合 計		5	10	7	3	25

(4) 単位互換の状況 (平成18年度)

(単位:人)

大 学 名	派 遣		受 入	
	人数	科目数(延べ)	人数	科目数(延べ)
高知大学	1	1	3	3
高知短期大学	2	3	7	16
高知学園短期大学	0	0	0	0
合 計	3	4	10	19

5 課外活動

(平成19年3月15日現在)

文 科 系		体 育 系	
団 体 名	部員数(人)	団 体 名	部員数(人)
マンドリンクラブ	13	剣道部	2
高知女子大合唱部	9	バレーボール部	20
新世紀寺子屋物語	7	The Field Waves with Guard Team "Arcs"	8
裏千家茶道部	9	水泳部	4
ESCORTERS	17	卓球部	9
小原流華道部	6	やっちゃん	29
演劇研究会TH	4	ソフトテニス部	5
比較日本文化研究部	14	ダンス部	7
漫画研究同好会	18	ワンダーフォーゲル部	4
生活デザイン創作研究会	59	グローバルクラブ (日韓学生よさこいチームJaparean)	15
大学生協学生委員会	12	太鼓部	20
池手話サークル	49	スポーツ友の会	13
映画研究会	18	FC女子大ソフィア(女子サッカー)	9
箏曲部	10	ソフトボール部	11
ワンボラ(NPO法人高知セラピー・ドック協会ボランティアグループ)	9	合気道部	9
演劇部	3	バスケットボール部	13
写真部	16	硬式テニス部	11
かんきもん	26	弓道部	6
ハンドメイドクラブ	9	バドミントン部	25
書道部	6	S N B	4
四次元文明研究会	1	ビーチバレー部	1
国際交流クラブ	15	I T R	5
いけとべ！！	13	サイクリング	4
こじゃんとよっちょれ祭実行委員会	28		
高知女子大学女子部(軽音・映像)	8		
25団体	379	23団体	234
48団体			613

6 保健管理状況（平成18年度）

【保健室利用状況】

単位：件

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
永国寺キャンパス	内科	16	17	28	36	4	1	22	37	13	13	18	2	207
	外科	7	11	24	14	1	3	17	7	7	3	5	0	99
	婦人科	7	8	7	5	1	1	9	10	4	6	3	1	62
	その他	50	67	57	48	6	10	36	30	14	19	5	6	348
	合計件数	80	103	116	103	12	15	84	84	38	41	31	9	716
	合計人数(人)	64	92	105	96	10	10	76	74	38	34	30	9	638
池キャンパス	内科	10	26	15	16	1	3	12	10	13	9	13	0	128
	外科	4	5	2	6	1	4	8	4	8	5	4	3	54
	婦人科	0	15	2	1	0	0	8	2	5	9	4	3	49
	その他	92	133	76	63	28	24	56	45	30	33	53	43	676
	合計件数	106	179	95	86	30	31	84	61	56	56	74	49	907
	合計人数(人)	90	147	78	72	26	21	66	56	44	50	53	49	752
合計件数		186	282	211	189	42	46	168	145	94	97	105	58	1,623
合計人数(人)		154	239	183	168	36	31	142	130	82	84	83	58	1,390

【精神科医師によるメンタルヘルス相談】

単位：件

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
永国寺キャンパス	4	1	3	3	3	3	2	4	1	1	2	2	22
池キャンパス	1	2	2	3	1	1	2	0	1	2	2	2	16
合計件数	5	3	5	6	0	4	2	6	1	2	2	2	38

【カウンセラーによるメンタルヘルス相談】

単位：件

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
永国寺キャンパス	9	16	16	17	10	5	12	13	8	6	7	5	124
池キャンパス	1	6	6	6	5	6	6	4	6	4	5	4	59
合計件数	10	22	22	23	15	11	18	17	14	10	12	9	183

【医師による婦人科相談】

単位：件

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
永国寺キャンパス	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	8
池キャンパス	3	3	3	3	3	4	3	3	3	5	3	3	12
合計件数	8	8	8	8	8	7	8	8	8	10	8	8	20

7 授業料等の状況

(1) 入学科、授業料(平成18年度)

区 分		入学手数料の額	入学料の額		授業料の額	
			県内生	県外生		
学 生	学 部	¥17,000 (編入の場合は¥30,000)	¥141,000	¥282,000	年 額	¥535,800
	大学院	¥30,000				
科目等履修生		¥4,900	¥14,100	¥28,200	1単位	¥14,800
研 究 生		¥4,900	¥42,300	¥84,600	月 額	¥29,700

(2) 授業料免除状況

区 分		学 部			大 学 院			合 計		
		半額免除	全額免除	計	半額免除	全額免除	計	半額免除	全額免除	計
平成16年度	前期	16人	4人	20人	2人	1人	3人	18人	5人	23人
		¥2,083,200	¥1,041,600	¥3,124,800	¥260,400	¥260,400	¥520,800	¥2,343,600	¥1,302,000	¥3,645,600
	後期	15人	7人	22人	1人	0人	1人	16人	7人	23人
		¥3,906,000	¥3,645,600	¥7,551,600	¥130,200	¥0	¥130,200	¥4,036,200	¥3,645,600	¥7,681,800
	計	31人	11人	42人	3人	1人	4人	34人	12人	46人
		¥5,989,200	¥4,687,200	¥10,676,400	¥390,600	¥260,400	¥651,000	¥6,379,800	¥4,947,600	¥11,327,400
平成17年度	前期	14人	7人	21人	—	—	—	14人	7人	21人
		¥1,875,300	¥1,875,300	¥3,750,600	—	—	—	¥1,875,300	¥1,875,300	¥3,750,600
	後期	23人	8人	31人	—	1人	1人	23人	9人	32人
		¥3,080,850	¥2,143,200	¥5,224,050	—	¥267,900	¥267,900	¥3,080,850	¥2,411,100	¥5,491,950
	計	37人	15人	52人	—	1人	1人	37人	16人	53人
		¥4,956,150	¥4,018,500	¥8,974,650	—	¥267,900	¥267,900	¥4,956,150	¥4,286,400	¥9,242,550
平成18年度	前期	23人	26人	49人	1人	1人	2人	24人	27人	51人
		¥3,080,850	¥6,965,400	¥10,046,250	¥133,950	¥178,600	¥312,550	¥3,214,800	¥7,144,000	¥10,358,800
	後期	19人	28人	47人	1人	2人	3人	20人	30人	50人
		¥2,545,050	¥7,501,200	¥10,046,250	¥133,950	¥446,500	¥580,450	¥2,679,000	¥7,947,700	¥10,626,700
	計	42人	54人	96人	2人	3人	5人	44人	57人	101人
		¥5,625,900	¥14,466,600	¥20,092,500	¥267,900	¥625,100	¥893,000	¥5,893,800	¥15,091,700	¥20,985,500

8 日本学生支援機構奨学金受給状況

(平成19年3月1日現在)

【学 部】

単位:人

区 分		生活科学部			文化学部	看護学部	社会福祉学部	合計
		生活デザイン学科	健康栄養学科	環境理学科	文化学科	看護学科	社会福祉学科	
全学年	1種	20	23	17	63	40	43	206
	きぼう	28	25	35	100	47	35	270
	計	48	48	52	163	87	78	476
	〔受給者数 学生数〕	(51%)	(53%)	(56%)	(48%)	(47%)	(55%)	(51%)
	併用	1	7	7	14	11	9	49
	他奨学金	1	2	0	0	3	2	8
1回生	1種	1	6	1	20	17	11	56
	きぼう	7	6	7	26	12	11	69
	計	8	12	8	46	29	22	125
	併用	0	3	1	6	7	5	22
	他奨学金	0	0	0	0	0	1	1
2回生	1種	6	4	4	12	7	10	43
	きぼう	14	6	6	33	13	6	78
	計	20	10	10	45	20	16	121
	併用	1	1	1	4	1	1	9
	他奨学金	0	0	0	0	1	1	2
3回生	1種	7	9	7	13	8	11	55
	きぼう	5	8	8	19	14	12	66
	計	12	17	15	32	22	23	121
	併用	0	2	3	1	2	2	10
	他奨学金	0	2	0	0	2	0	4
4回生	1種	6	4	5	18	8	11	52
	きぼう	2	5	14	22	8	6	57
	計	8	9	19	40	16	17	109
	併用	0	1	2	3	1	1	8
	他奨学金	1	0	0	0	0	0	1

※ 他奨学金: 日本学生支援機構以外

(平成19年3月1日現在)

【大学院】

単位:人

区 分		看護学研究科	人間生活学研究科	健康生活学研究科	合計
全学年	1種	4	4	1	9
	きぼう	2	0	0	2
	計	6	4	1	11
	〔受給者数 学生数〕	(23%)	(10%)	(3%)	(11%)
	併用	2	0	0	2
	他奨学金	4	0	0	4
1回生	1種	0	1	0	1
	きぼう	0	0	0	0
	計	0	1	0	1
	併用	2	0	0	2
	他奨学金	2	0	0	2
2回生	1種	4	3	1	8
	きぼう	2	0	0	2
	計	6	3	1	10
	併用	0	0	0	0
	他奨学金	2	0	0	2
3回生	1種			0	0
	きぼう			0	0
	計	—	—	0	0
	併用			0	0
	他奨学金			0	0

※ 他奨学金:日本学生支援機構以外

9 卒業（修了）者の状況

(1) 年次別卒業（修了）者数

(単位:人)

区 分			H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
学部	家政学部	家政学科	24	21	17	26	24	－	－	－	－	－	－
		食物栄養学科	20	32	23	19	21	1	－	－	－	－	－
		生活理学科	21	25	19	19	18	1	1	－	－	－	－
		看護学科	23	20	27	27	25	－	－	－	－	－	－
		小 計	88	98	86	91	88	2	1	－	－	－	－
	文学部	国文学科	64	48	38	43	43	4	－	1	－	－	－
		英文学科	75	35	29	55	36	4	1		－	－	－
		小 計	139	83	67	98	79	8	1	1	－	－	－
	生活科学部	生活デザイン学科	－	－	－	－	－	23	25	24	22	22	24
		健康栄養学科	－	－	－	－	－	23	26	25	22	21	23
		環境理学科	－	－	－	－	－	20	20	19	24	22	35
		小 計	－	－	－	－	－	66	71	68	68	65	82
	文化学部	文化学科	－	－	－	－	－	80	75	74	89	78	74
	看護学部	看護学科	－	－	－	－	－	45	46	50	45	41	48
	社会福祉学部	社会福祉学科	－	－	－	－	－	37	34	35	34	43	31
	学 部 計			227	181	153	189	167	238	228	228	236	227
大学院	看護学研究科		－	－	－	11	10	8	11	11	10	13	12
	人間生活学研究科		－	－	－	－	－	－	16	14	9	12	15
	健康生活科学研究科		－	－	－	－	－	－	－	2	7	9	3
	大 学 院 計		－	－	－	11	10	8	27	27	26	34	30
合 計			227	181	153	200	177	246	255	255	262	261	265

(2) 平成19年度卒業生就職状況

【学科別産業別就職状況】(平成19年6月30日現在)

(単位:人)

区 分		生活科学部				文化学部	看護学部	社会福祉学部	合計
		生活デザイン	健康栄養	環境理学	計	文化	看護	社会福祉	
卒業者数		24	23	35	82	73	48	31	234
進学者数		3	0	1	4	4	5	1	14
就職希望者数(A)		21	23	34	78	61	43	29	211
就職決定者数(B)		21	23	26	70	50	43	29	192
就職決定率(B/A:%)		100.0	100.0	76.5	89.7	82.0	100.0	100.0	91.0
建設業		(2) 4		1	(2) 5				(2) 5
製造業		1	4	(1) 4	(1) 9	2		(1) 1	(2) 12
電気・ガス・水道業									
運輸・通信業				3	3	(1) 4			(1) 7
卸売・小売業・飲食		(4) 11	(1) 14	3	(5) 28	(1) 7			(6) 35
金融・保険業		(2) 2		(1) 2	(3) 4	(6) 10			(9) 14
不動産業				1	1	(1) 1			(1) 2
医療保健業		1	2		3	(1) 1	(13) 37	(5) 24	(19) 65
教 育	教員			3	3	(1) 1	(2) 2	(1) 1	(4) 7
	職員								
サービス業			(1) 2	5	(1) 7	(3) 14	1	(1) 1	(5) 23
公務						(1) 1	2	(1) 1	(2) 4
上記以外		2	(1) 1	4	(1) 7	(3) 9	1	(7) 1	(11) 18
合 計		(8) 21	(3) 23	(2) 26	(13) 70	(18) 50	(15) 43	(16) 29	(62) 192

() 内は高知県内就職者数

6 総合情報センター

1 図書等受入状況

区 分		1 8 年 度		累 計
		永 国 寺	池	
図 書	和漢書(冊)	2,162	1,079	198,720
	洋 書(冊)	142	46	34,391
	合 計(冊)	2,304	1,125	233,111
雑 誌	和雑誌(種)	399(0)	461(2)	860
	洋雑誌(種)	43(0)	66(1)	109
	合 計(種)	442(0)	527(1)	969

()は平成18年度に増加した雑誌種数

2 図書館利用状況(平成18年度)

	永 国 寺	池	合 計
入館者数(人)	38,248	60,392	98,640
貸出人数(人)	5,527	3,878	9,405
貸出冊数(冊)	13,346	11,635	24,981

3 学内LANの状況(平成18年度)

(1) サーバ、ネットワークシステムの概要

○ サーバ

www、smtp、DNS、proxy 等で、FireWall と virus checker を入れている。

○ ネットワークシステム

永国寺キャンパスがメインネットワークでインターネットに繋がっており、池キャンパスはサブネットワークで、1.5MBでメインネットワークと接続されている。

(2) 登録ID総数及び教職員、学生、大学院生ごとの内訳

○ UNIXワークステーション登録

教職員 176名(教員140名、事務職員29名、その他7名)

学 生 176名(学部128名、大学院48名)

○ WindowsNTシステム登録

教職員 30名、学生 1071名

○ 接続端末の総数及びキャンパスごとの内訳

総数 約680台

永国寺キャンパス 約530台

池キャンパス 約150台

7 国際交流

1 米国 マサチューセッツ州エルムズ大学との交流

- 平成10年10月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・短期学生研修生の派遣や受入れ
 - ・3ヶ月の短期留学生の派遣や受入れ

(平成18年度実績:H19.3.31現在)

短期(2週間)		短期(3ヶ月以上1年未満)	
派遣	受入	派遣	受入
10	0	1	1

2 米国 オレゴン州オレゴンヘルスサイエンス大学看護学部との交流

- 平成12年1月 大学院看護学研究科との間で国際交流協定締結

3 中国 華中師範大学との交流

- 平成13年2月 国際交流協定締結

4 モンゴル ウランバートル第23番外国語教育特別学校等との交流

- 平成17年1月 国際交流協定締結
- 交流状況
 - ・3ヶ月の短期留学生の派遣や受入れ

(平成18年度実績:H19.3.31現在)

派遣	受入
0	8

5 中国 北京聯合大学旅游学院との交流

- 平成18年10月 国際交流協定締結

6 台湾 文藻外語学院との交流

- 平成19年1月 国際交流協定締結

8 開かれた大学

1 公開講座等実施状況(平成18年度)

○公開講座

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数	対象者
生 活 科 学 部	インドネシア・スマトラ島アチェの生活文化と自然	1	12/9	9	一般
	健康フォーラム「次世代の生活習慣病予防対策」	1	1/27	55	一般
	幼児による異物の誤飲の現状とその救急対応	1	1/27	15	一般
看 護 学 部	最新実践看護講座 : 「退院調整」と「在宅ターミナルケア」の実践から	2	6/30、7/6	91	看護職者
	最新実践看護講座 : 「母性看護」と「感染対策」の実践から	2	6/29、7/7	95	看護職者
	こころのゆがみ・ひずみの理解 - 人格構造の理解 -	1	8/8	151	看護職者
	患者さんの身体の声を聴く ~ ケアに生かすフィジカルアセスメント初級編 ~	1	12/22	89	看護職者
社 会 福 祉 学 部	高校生のための公開講座	2	7/30 ~ 7/31	60	高校生
計		11		565	

○リカレント講座

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数	対象者
生 活 科 学 部	地域の健康づくりと栄養	3	2/6 ~ 2/8	42	専門職者
文 化 学 部	発見!! 授業に役立つ日本語実践講座	1	7/24	43	教員
	英語発音の教え方に関する講座	2	7/31、8/2	25	
	異文化コミュニケーションに関する講座	2	8/3 ~ 8/4	10	
	英語教員のためのパソコン利用講座	2	8/10 ~ 8/11	26	
	小・中・高における古典指導のあり方	1	11/11	36	
社 会 福 祉 学 部	地域福祉計画と住民主体のまちづくり	1	10/7	24	一般
	ソーシャルワーク・アセスメントのスキルアップ	1	10/21	35	専門職者
	障害のある幼児の理解と発達援助	3	10/24、11/7、11/28	159	専門職者
	地域福祉と移動サービス	1	10/28	27	一般
	小規模作業所のこれからを考える	1	10/31	11	施設関係者
	介護保険・障害者福祉制度の改革動向と課題	1	11/4	72	一般
	介護サービス情報の公開と福祉サービスの第三者評価	1	11/11	24	施設職員
	「リスク」との上手なつき合いがた - リスクアナリシスのすすめ -	2	11/21	46	専門職者

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数	対象者
社 会 福 祉 学 部	田内千鶴子さんを知っていますか？	1	11/25	13	一般
	年金・医療制度改革と今後のゆくえ	1	11/25	51	一般
	特別講座「ユニットケアはこれからです - ユニットケアの現状と課題 -」	1	12/9	100	一般
計		25		744	

区 分	内 容	回数	実施時期	参加数	対象者
看 護 学 部	<看護相談室事業> ケア検討会・交流会&リカレント教育 9領域 家族看護学・精神看護学・がん看護学 小児看護学・母性看護学・地域看護学 老人看護学・看護管理学・慢性看護学	34	通年	577	保健医療関係者等
文 化 学 部	県民開放授業 前期 [募集科目] 30科目 [受講者数] 135人 (30科目) 後期 [募集科目] 28科目 [受講者数] 107人 (28科目)				
大学院 人間生活学研究科	遍路文化フォーラム	1	1/28	40	一般
大学院 健康生活科学研究科	健康運動教室	1	3/31	50	一般

3回実施延べ人数

2 学会その他の委員等の状況(平成18年度)

(1) 全国・国際学会の理事・幹事

学部	職 名	氏 名	学 会 名	理事・幹事の別
生活科学部	教 授	大村 誠	国際測地学協会	小委員会4.4幹事
	教 授	井本 正人	日本流通学会	理事
	助教授	團野 哲也	日本繊維製品消費科学会	評議員
	教 授	荻沼 一男	染色体学会	理事
			日本植物学会	評議員
	教 授	一色 健司	コンピュータ利用教育協議会	理事・運営委員
	教 授	佐藤 厚	日本栄養・食糧学会	本部評議員
	教 授	笠原 賀子	日本栄養改善学会	評議員
			日本栄養・食糧学会	本部評議員・参与
	教 授	渡邊 浩幸	日本栄養・食糧学会	参与
	助教授	佐藤 之紀	日本調理科学会	中国・四国支部役員
	教 授	宇野 浩三	北海道住まい・環境教育学会	会長
文化学部	助教授	高岡 弘幸	土佐民俗学会	常任理事
	助教授	橋尾 直和	四万十・流域圏学会	理事・代表幹事
看護学部	教 授	野嶋佐由美	日本家族看護学会	副理事長
	教 授	鈴木志津枝	日本がん看護学会	理事
	教 授	山田 覚	日本災害看護学会	副理事長
	教 授	中野 綾美	日本家族看護学会	理事
	助教授	長戸 和子	日本家族看護学会	幹事
社会福祉学部	教 授	川崎 育郎	日本心理学会	専門別議員
			日本感情心理学会	理事
	教 授	住友 雄資	日本精神障害者リハビリテーション学会	理事

(2) 公的機関が設置した審議会・委員会の委員等

学部	職 名	氏 名	審議会・委員会名等	発 令 者
	学 長	青山 英康	高知県人権尊重の社会づくり協議会	高知県知事
			高知県食の安全・安心推進審議会	高知県知事
			新しい地域保健体制検討委員会アドバイザー会議	兵庫県知事
			ひょうご健康づくり県民行動指標策定委員会	兵庫県知事
			高知県老人医療費問題検討委員会	高知県健康福祉部長
			岡山市保健所問題懇談会	岡山市長
			岡山市公衆衛生委員会	岡山市長
			健康市民おかやま21推進会議	岡山市長
生活科学部	教 授	一色 健司	高知県環境審議会	高知県知事
			高知県環境影響評価技術審査会	高知県知事
			高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員	高知県教育長
			新宇治川放水路地下水監視委員会	いの町長
	教 授	井本 正人	高知県NPOと行政との協働推進事業審査会	高知県文化環境部長
	教 授	笠原 賀子	管理栄養士国家試験委員	厚生労働大臣
			「元気の素は食事から実践事業」検討委員会	高知県教育委員会教育長
			「食に関する指導の手引き-中学校用-」作成委員会	群馬県教育委員会教育長
	教 授	川村美笑子	食の安心・安全推進協議会	高知県知事
			高知県科学アカデミー・ミッション総括委員	高知県知事
			高知県海洋深層水ミネラル調整液等商品化推進会議	高知県知事
			高知県農林業基本対策審議会	高知県知事
			高知県地域教育再生プラン事業運営委員会	高知県
			元気の元は食事から実践事業検討委員会	高知県
	教 授	川村美笑子	高知県地域家庭教育推進協議会	高知県教育委員会生涯学習課長

学部	職 名	氏 名	審議会・委員会名等	発 令 者
生活科学部	教 授	川村美笑子	高知市消費者保護会議	高知市
	教 授	佐藤 厚	高知県健康づくり推進協議会	高知県
	教 授	大村 誠	高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員	高知県教育長
	助教授	團野 哲也	高知県教員採用審査問題研究委員	高知県教育長
	助教授	三浦 要一	史跡高松城跡建造物検討委員会	高松市教育委員会教育長
			徳島県東祖谷山村伝統的建造物郡保存対策調査委員会委員	
	助教授	風間 裕	高知県公立学校教員採用候補者選考審査問題研究員	高知県教育長
	助 手	島崎佐智代	高知県建築審査会	高知県知事
			高知県地方港湾審議会	高知県知事
			高知市都市美審議会	高知市長
			高知市住宅審議会	高知市長
			高知市都市計画審議会	高知市長
	助 手	堀内 和美	高知県希少野生動植物保護検討委員会委員	高知県教育長
			高知市里山保全審議会	高知市長
			高知市緑政審議会	高知市長
文化学部	教授	佐藤 恵里	高知県立文学館運営協議会	高知県知事
	助教授	五百蔵高浩	高知県立西高等学校スーパーイングリッシュハイスクール運営指導委員会	高知県教育長
	助教授	清原 泰治	高知県スポーツの歩み検討委員会	高知県教育長
			高知県スポーツの歩み編集委員会	高知県教育長
			こうち男女共同参画会議	高知県
			義務教育の質の保証に資する学校評価システム評価委員	香美市
	助教授	岩倉 秀樹	高知県公文書開示審査会	高知県知事
			高知市放置自動車廃物判定委員会	高知市長
			高知市行政情報公開・個人情報保護審査会	高知市長

学部	職 名	氏 名	審議会・委員会名等	発 令 者
文化 学部	助教授	岩倉 秀樹	高知市議会情報公開・個人情報保護審査会	高知市議会議長
	講 師	長妻由里子	高知地方労働審議会家内労働部会	高知労働局長
看護 学部	教 授	野嶋佐由美	高知県地方薬事審議会	高知県知事
			高知県看護職員需給見通し検討委員会	高知県知事
	教 授	鈴木志津枝	大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)専門委員	文部科学大臣
			がん専門分野における質の高い看護師の育成研修事業検討会	高知県健康福祉部長
	教 授	粕田 孝行	高知県精神医療審査会	高知県健康福祉部長
	教 授	中野 綾美	学校給食表彰候補学校選考審査会	高知県教育委員会教育長
			高知市社会福祉審議会	高知市長
	教 授	時長 美希	高知市国民健康保険運営協議会	高知市長
			高知市建築審査会	高知市長
			芸西村地域包括支援センター運営協議会	芸西村長
	教 授	山田 覚	災害時健康管理体制整備推進事業検討委員会	高知県知事
			在宅要医療者災害支援事業検討委員会	高知県知事
	助教授	森下 安子	高知県高齢者保健福祉推進委員会	高知県健康福祉部長
			日高村高齢者保健福祉計画・介護保険計画策定委員会	日高村長
			日高村地域包括支援センター運営協議会	日高村長
社会福祉 学部	教 授	前山 智	高知保護司選考委員	法務大臣
			高知県社会福祉審議会	高知県知事
	教 授	川崎 育郎	高知県児童福祉審議会	高知県知事
	教 授	川崎 育郎	高知県青少年問題協議会	高知県知事
	教 授	住友 雄資	高知保護司選考委員	法務大臣
			高知県社会福祉審議会	高知県健康福祉部長
			高知県精神医療審査会	高知県健康福祉部長

学部	職 名	氏 名	審議会・委員会名等	発 令 者
社会福祉学部	教 授	田中きよむ	高知県社会教育委員	高知県教育長
			高知市社会福祉審議会	高知市長
			土佐清水市地域福祉計画アドバイザー	土佐清水市長
			日高村地域福祉活動計画アドバイザー	日高村長
			本山町地域福祉活動計画アドバイザー	本山町長
			須崎市地域福祉計画アドバイザー	須崎市長
			高知県立身体障害者リハビリテーションセンター 移管協議先選定委員会	高知県健康福祉部長
	助教授	吉野由美子	高知県障害者施策推進協議会	高知県知事
			高知県医療審議会	高知県知事
			高知市障害者計画推進協議会	高知市長
	助教授	宮上多加子	高知市民生委員推薦会	高知市長
	助教授	玉里恵美子	高知県農業経営・生産対策等に関する第三者委員会	高知県知事
			高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集評価委員会	高知市長
			室戸市地域福祉計画策定アドバイザー	室戸市長
			大豊町行政文書開示審査会	大豊町長
			大豊町高齢者保健福祉推進委員会	大豊町長
	助教授	長澤紀美子	福祉サービス第三者評価推進委員会	高知県知事
			佐川町公文書開示審査会	佐川町長
			佐川町個人情報保護審査員	佐川町長
			福祉サービス第三者評価推進委員会	高知県知事
	講 師	鈴木 孝典	高知県精神医療審査会	高知県健康福祉部長
	助 手	太田こずえ	高知県NPOと行政との協働推進事業審査会	高知県文化環境部長

3 刊行物、パンフレット等作成状況(平成18年度)

区 分	名 称
全 学	大学案内(日本語版・英語版) 高知女子大学紀要 学生便覧 授業内容の概要(シラバス) 高知女子大学中長期計画(冊子・ダイジェスト版) 女子大ノート オープンキャンパス(冊子・ポスター) KWU NEWS(地域創成センター) JICA 女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成コース 就活ハンドブック 入学者選抜に関する要項 各入試の募集要項(看護学部編入学・社会福祉学部編入学・推薦入学・一般選抜・私費外国人留学生選抜・大学院3研究科)
生 活 科 学 部	生活科学部報2006年版
文 化 学 部	平成18年度卒業研究概要集 高知女子大学文化論叢 第9号 文化学部の就職カタログ100 文化学部活動記録(2005年度)
看 護 学 部	看護の手帖 nursing book
社会福祉学部	社会福祉学部報 2006年度版 こんにちは、社会福祉学部です。
大 学 院	大学院案内 博士論文内容の要旨及び審査結果の一覧 大学院修了者紹介 授業内容の概要(大学院用) 人間生活学研究科広報ポスター

9 JICAプロジェクト

1 概要（平成18年度）

- コース名 「女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成コース」
- 研修期間 平成18年11月27日～平成18年12月11日
- 定員 8名
- 言語 英語
- 参加研修員数 8名
アフガニスタン、ガーナ、ホンジュラス、イラン、ネパール、ニウエ、パラオ、タイから各1名

2 プロジェクト担当教員

事業総括	文化学部長	水谷 洋一
プロジェクトマネージャー	生活科学部 助教授	團野 哲也
サブマネージャー	文化学部 助教授	高岡 弘幸
サブマネージャー	文化学部 講師	長妻 由里子

3 研修プログラム

年月日	テ ー マ	講 師
H18.11.28	「ジェンダー論」	長妻 由里子(高知女子大学講師) 中島 佳代子(こうち男女共同参画センター「ソーレ」館長)
H18.11.29	「労働移民と女性」	小高 泰(拓殖大学言語文化研究所講師)
H18.11.30	「日高中学校訪問・鹿敷工房見学・榎本神社見学」	團野 哲也(高知女子大学助教授)
H18.12.1	「高度経済成長と女性の暮らし」	村瀬 敬子(仏教大学講師)
	「日本における女性の生活史」	坂本 正夫(前・高知県立歴史民族資料館長) 高岡 弘幸(高知女子大学助教授)
H18.12.4	「ドメスティック・バイオレンスと女性」	又川 晃世(高知新聞社学芸部副部長) 武田 紀(高知ボランティア・ビューロー)
H18.12.5	「女性のエンパワーメントと開発」	織田 由紀子(日本赤十字九州国際看護大学教授)

年月日	テ ー マ	講 師
H18.12.6	「ジェンダーと人間の安全保障」	池田 修一(JICA企画・調整部ジェンダー平等推進 チーム長) 石井 菜穂子(同上ジュニア専門員)
H18.12.7	「女性の生活と農家女性の経済的地位の向上について」	井本 正人(高知女子大学教授) 大野 登志子(中央農業振興センター) 北村 伸(中央東農業振興センター) 岩原 洋子(かざぐるま市協議会)
H18.12.8	「日本における女性の労働環境」	大井 方子(高知短期大学助教授)
	「高知医療センター見学」	堀見 忠司(高知医療センター病院長)
H18.12.9	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」	中山 まき子(同志社女子大学教授)
H18.12.11	「成果発表会」・「閉講式」・「歓送会」	-

10 財 務

1 収入・支出の状況(平成18年度)

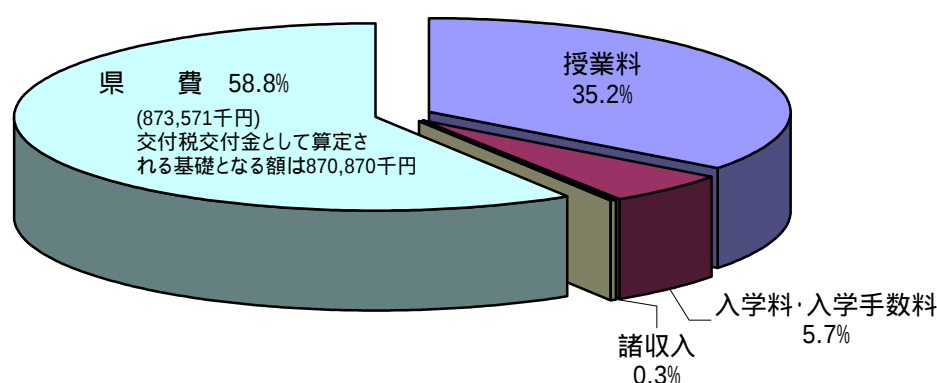
大学独自の収入(入学料や授業料など)は、収入全体の約41%で残りは県費でまかなわれている。また、教職員や非常勤講師などの人件費が支出全体の約75%を占めており、光熱水費などの施設維持経費と併せると支出全体の約90%が一般管理経費となっている。残り10%程度で教育・研究など大学独自の活動を行っている。

【収入の内訳】

単位:千円

項 目	金 額	備 考
授 業 料	523,171	611,106千円(全体の約41%) 大学独自の収入(自主財源) 諸収入は、センター試験受託料・庁舎等使用料・労働保険料
入学料・入学手数料	84,079	
諸 収 入	3,856	
県 費	873,571	参考: 交付税基準財政需要額 870,870千円 内訳 保健系(看護学部・看護学研究科) @273千円×1392人(学生数210人×補正率6.63) = 380,016千円 文科系(文化学部) @273千円×348人(学生数348人×補正率1.00) = 95,004千円 家政系(生活科学部・社会福祉学部・人間生活学研究科・健康生活科学研究科) @273千円×1450人(学生数490人×補正率2.96) = 395,850千円
合 計	1,484,677	

< 収入の割合 >

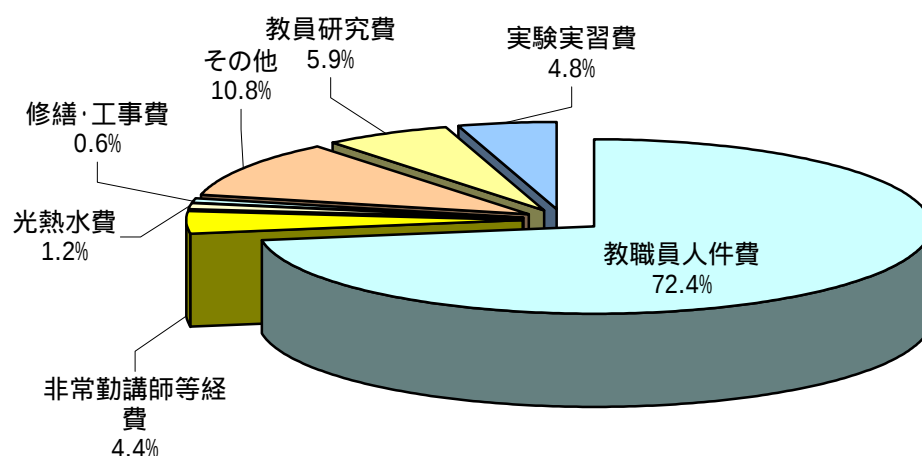


【支出の内訳】

単位:千円

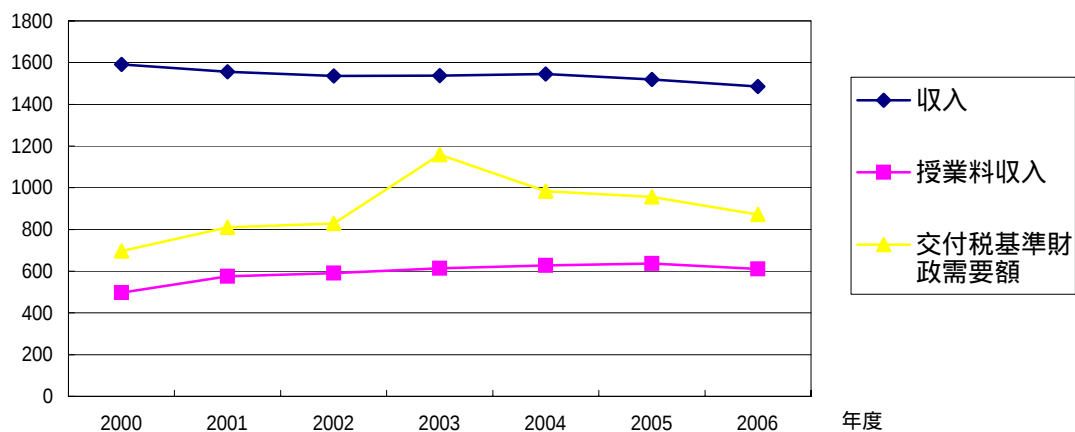
項 目	金 額	備 考
教 職 員 人 件 費	1,074,642	教員や事務局職員の人件費
非 常 勤 講 師 等 経 費	63,985	非常勤講師及び非常勤・臨時職員の人件費・賃金
光 熱 水 費	17,992	電気・水道・ガス等の経費
修 繕 ・ 工 事 費	8,672	校舎等の修繕・工事等の経費 主に永国寺キャンパスの施設改善のために使用
そ の 他	159,883	各種委員会経費、情報機器・植栽の維持管理、学内の清掃、消耗品の購入等学校を運営していくための経費
教 員 研 究 費	87,914	主に教員の研究のための経費
実 験 実 習 費	71,589	主に授業や実習のための経費
合 計	1,484,677	

< 支出の割合 >



(参考)

単位:百万円



2 外部資金の状況

(1) 科学研究費補助金交付状況

【科学研究費補助金交付実績】

研究 種 目	研究代表者			研究分担者			研 究 題 目	新規・継 続・終 了・転出 の別	研究 期間	交付金額(千円)							
	学 部	職 名	氏 名	学 部	職 名	氏 名				H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19 (予定)	H 20 (予定)	計
萌芽研究	文化学部	助教授	青木 淳				聖遺物信仰の成立と信仰圏の形成過程に関する日欧比較研究	終了	H15～17		1,200	1,100	900				3,200
	看護学部	教 授	野嶋佐由美	看護学部	教 授	中野 彩美	喘息疾患患児の家族対処とその効果に関する多元的データに基づいた有効な指標の同定	終了	H14～16	1400	900	1,100					3,400
					助教授	長戸 和子											
					講 師	青木 典子											
					講 師	川上 理子											
					助 手	瓜生 浩子											
		教 授	藤田 佐和	看護学部	教 授	野嶋佐由美	退院から在宅療養のプロセスをともに歩む在宅リエゾン看護モデルの構築	新規	H18～19					2,000	1,300		3,300
					助教授	森下 安子											
					助教授	長戸 和子											
					講 師	池添 志乃											
講 師					青本さとみ												
講 師					川上 理子												
講 師					瓜生 浩子												
助 手					井上 正隆												
社会福祉学部	講 師	長澤紀美子				スティックホルダー参加型の保健医療福祉共同体のガバナンスに関する研究	終了	H16～17			700	900				1,600	
	講 師	長南 浩人				人工内耳を装用した聴覚障害児の音韻意識の発達に関する研究	転出	H17～18				1,300				1,300	
小 計									1,400	2,100	2,900	3,100	2,000	1,300		12,800	

研究種目	研究代表者			研究分担者			研究題目	新規・継続・終了・転出の別	研究期間	交付金額(千円)							
	学部	職名	氏名	学部	職名	氏名				H14	H15	H16	H17	H18	H19 (予定)	H20 (予定)	計
若手研究B	生活科学部	助教授	三浦 要一				明治中期から大正期の大阪市接続町村における市街地形成と「大大阪新開地」の成立	終了	H15～16		800	600					1,400
	文化学部	講師	長妻由里子				ペリーのアメリカにおける視覚的身体とジェンダー	新規	H18～20					500	500	300	1,300
	看護学部	講師	青木 典子				精神障害者の症状マネジメントに関する研究	終了	H16～17			1,600	1,200				2,800
		講師	大川 宣容				クリティカルケアにおける看護師の看護援助技術に関する研究	終了	H16～17			1,100	800				1,900
		講師	川上 理子				家族介護者の意欲を向上させるレスパイトケアのプログラム開発	終了	H16～17			1,200	1,400				2,600
		助手	瓜生 浩子				家族 - 患者間の認知的ギャップを緩和するための看護ケアガイドラインの作成	終了	H16～17			1,400	1,400				2,800
		助手	平原 直子				クリティカルケアにおける意識障害患者の家族に対する看護ケアに関する研究	継続	H17～18				900	700			1,600
		講師	池添 志乃				家族の生活の再構築の比較脳血管障害患者と痴呆老人の家族の知恵の発達の視点から	終了	H15～16		1,800	1,600					3,400
		講師	松枝 睦美				妊娠初期から育児期における女性を中心とした家族へのサポートシステムに関する研究	終了	H15～16		1,700	1,500					3,200
		助手	新田 和子				看護師の共感の技術を開発する教育プログラムの作成	転出	H16～18			1,800					1,800
		助手	井上 正隆				看護サービスの継続的カイゼン活動のための質評価方法の検討	新規	H18～19					1,400	500		1,900
		助手	水津 朋子				脳卒中患者とその家族への在宅看護支援モデルの開発	新規	H18～19					800	500		1,300
		助手	瓜生 浩子				障害を持ちながら急性期病院を退院する患者とその家族の退院準備性を高める看護ケア	新規	H18～19					1,800	1,200		3,000

研究種目	研究代表者			研究分担者			研 究 題 目	新規・継続・終了・転出の別	研究期間	交付金額(千円)								
	学 部	職 名	氏 名	学 部	職 名	氏 名				H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19 (予定)	H 20 (予定)	計	
若手研究B	看護学部	助 手	池田 貴子				慢性統合失調症患者のセルフケア能力のアセスメントツール開発	新規	H18～20					1,200	900	700	2,800	
	社会福祉学部	講 師	鈴木 孝典				精神障害者地域生活支援サービスにおけるリスクアナリシスに関する研究	継続	H16～18					1,000			1,000	
	小 計									0	4,300	10,800	5,700	7,400	3,600	1,000	32,800	
基盤研究B	看護学部	教 授	鈴木志津枝				在宅ターミナルケアに関する地域ネットワークシステムモデルの開発	終了	H14～16	1,500	1,700	1,400					4,600	
		教 授	山田 覚	看護学部	教 授	野嶋佐由美	精神科患者分類別看護問題・看護介過の開発とコンピュータープログラムの運用化の試み	終了	H14～17	3,400	2,600	3,200	3,700				12,900	
					教 授	粕田 孝行												
					助 手	池田 貴子												
		教 授	藤田 佐和	看護学部	教 授	鈴木志津枝	がん体験者の折り合いをつける力に着眼した長期的適応を促す看護援助プログラムの開発	終了	H14～17	3,300	1,600	1,400	1,700				8,000	
					教 授	森下 利子												
					講 師	大川 宣容												
					助 手	水津 朋子												
		教 授	野嶋佐由美	看護学部	教 授	中野 綾美	難病患者と共に生きる家族の在宅生活を支える看護ケアガイドラインの開発	継続	H16～18			2,500	2,000	2,600				7,100
					助教授	長戸 和子												
					講 師	池添 志乃												
					講 師	川上 理子												
					助 手	瓜生 浩子												
助 手	平原 直子																	
助教授	長戸 和子	看護学部	講 師	瓜生 浩子	糖尿病患者・家族の「家族マネジメント力」を育成・強化する家族への教育とその評価	新規	H18～20					3,770	1,100	1,500	6,370			
			助 手	平原 直子														

研究種目	研究代表者			研究分担者			研究題目	新規・継続・終了・転出の別	研究期間	交付金額(千円)							
	学部	職名	氏名	学部	職名	氏名				H14	H15	H16	H17	H18	H19 (予定)	H20 (予定)	計
基盤研究B	看護学部	教 授	山田 覚	看護学部	教 授	谷脇 文子	災害支援における看護マンパワーを効率的に活用するための運用システムに関する研究	新規	H18～20					2,600	1,600	1,600	5,800
					教 授	粕田 孝行											
					助教授	森下 安子											
					助教授	竹崎久美子											
					講 師	大川 宣容											
					講 師	佐東 美緒											
					助 手	井上 正隆											
	小 計									8,200	5,900	8,500	7,400	8,970	2,700	3,100	44,770
基盤研究C	生活科学部	教 授	井本 正人				過疎地域における移動の円滑化に関する実証的研究	継続	H16～18			1,100	800	1,000			2,900
		教 授	大久保茂男				原子核の虹散乱と核間相互作用・クラスター構造の研究	継続	H16～19			1,200	700	800	700		3,400
		教 授	渡邊 文雄	生活科学部	助 手	宮本 恵美	栄養補助食品(および飼料)スピルリナの栄養欠点の克服に関する研究	終了	H15～17		800	800	1,000			2,600	
		教 授	荻沼 一男				葉芽を利用した染色体による広義トウダイグサ科の核型進化	終了	H15～16		1,900	1,700				3,600	
	文化学部	助教授	高岡 弘幸				高度経済成長期の地方都市におけるスーパーマーケット進出と民族文化変容の研究	終了	H15～16		700	500				1,200	
	看護学部	教 授	中野 綾美	看護学部	助教授	益守かづき	入院中の子ども・家族の看護者に対する『交渉』を支援する看護介入の開発	継続	H15～17		1,000	1,500	1,000				3,500
		教 授	時長 美希	看護学部	教 授	野嶋佐由美	脆弱性を有する個人と家族を対照とする地域看護活動分類と活動モデルの構築	継続	H17～19				1,600	900	800		3,300
		助教授	益守かづき				地域で生活している健康障害をもつ子どものヘルスプロモーションへの看護介入の構築	継続	H16～18			2,200	500	900			3,600

研究種目	研究代表者			研究分担者			研 究 題 目	新規・継続・終了・転出の別	研究期間	交付金額(千円)								
	学 部	職 名	氏 名	学 部	職 名	氏 名				H14	H15	H16	H17	H18	H19 (予定)	H20 (予定)	計	
基盤研究C	看護学部	助教授	森下 安子	看護学部	教 授	時長 美希	介護予防と在宅生活の継続を支援するケアマネジメント指針の開発	終了	H17～19				1,100	1,000	900		3,000	
					助教授	竹崎久美子												
					講 師	川上 理子												
					助 手	高見 千恵												
		助教授	竹崎久美子	看護学部	教 授	時長 美希	高齢者の体型と歩行パターンに応じた生活行動範囲回復のためのセルフケアプログラム開発	継続	H17～19				1,100	400	500		2,000	
					助教授	森下 安子												
					講 師	川上 理子												
					助 手	高見 千恵												
		講 師	池添 志乃	看護学部	教 授	野嶋佐由美	脳血管障害患者と痴呆性高齢者の家族の介護キャリアを支える看護援助マニュアルの開発	継続	H17～19				1,500	900	1,000		3,400	
		助 手	佐東 美緒	看護学部	教 授	中野 綾美	「NICUを退院した子ども・家族のエンパワメントを支援するガイドライン」の開発	継続	H16～18			1,900	800	900			3,600	
					助教授	益守かづき												
		助教授	張 彦虎	看護学部	教 授	鈴木志津枝	がん体験者の長期的適応とその関連要因に関する国際比較研究	転出	H16～17			1,500						1,500
					教 授	谷脇 文子												
					教 授	藤田 佐和												
		助教授	長戸 和子					慢性疾患患者の家族のマネージメント力を測定するスケールの開発と実践への活用	終了	H14～16	1,600	800	900					3,300
		教 授	鈴木志津枝	看護学部	教 授	齋藤 信也	がん患者のギアチェンジを支える援助モデルの開発	新規	H18～20					1,300	1,000	1,200	3,500	
教 授	森下 利子																	
講 師	大川 宣容																	
講 師	嶋岡 暢希	看護学部	教 授	中野 綾美	乳児期の子どもを育てる親を育児困難感から開放するコミュニケーション技術の開発	新規	H18～20					1,500	800	1,100	3,400			
			助教授	長戸 和子														
			講 師	佐東 美緒														

研究 種目	研究代表者			研究分担者			研 究 題 目	新規・継続・終了・転出の別	研究 期間	交付金額(千円)							
	学 部	職 名	氏 名	学 部	職 名	氏 名				H14	H15	H16	H17	H18	H19 (予定)	H20 (予定)	計
基盤研究C	社会福祉学部	教 授	住友 雄資				精神障害者の地域生活支援を実現するための住居確保に関する実証的研究	継続	H16～18			1,200	800	800			2,800
		助教授	宮上多加子				痴呆介護実践力向上に関する研究 - 家族介護者の生涯学習体験に基づく分析 -	終了	H16～17			1,100	900			2,000	
		教 授	栗田 明良				介護移住「問題」の展開と農山村における制度定着要件に関する研究	終了	H14～16	1,400	1,400	500				3,300	
	小 計									3,000	6,600	16,100	11,800	10,400	5,700	2,300	55,900
合 計										12,600	18,900	38,300	28,000	28,770	13,300	6,400	146,270

【年次別科学研究費新規採択件数(学部別)】

区分 (科学研究費)		生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
平成15年度	教員数(人)	32	21	27	12	92
	申請件数(件)	14	8	7	6	35
	申請率	44%	38%	26%	50%	38%
	採択件数(件)	3	2	3	0	8
平成16年度	教員数(人)	29	22	27	14	92
	申請件数(件)	10	5	16	5	36
	申請率	34%	23%	59%	36%	39%
	採択件数(件)	2	0	8	3	13
平成17年度	教員数(人)	31	23	27	12	93
	申請件数(件)	11	8	10	2	31
	申請率	35%	35%	37%	17%	33%
	採択件数(件)	0	0	5	1	6
平成18年度	教員数(人)	30	22	27	12	91
	申請件数(件)	12	7	16	4	39
	申請率	40%	32%	59%	33%	43%
	採択件数(件)	0	1	9	0	10

区分 (研究成果公開促進費)		生活科学部	文化学部	看護学部	社会福祉学部	計
平成17年度	教員数(人)	31	23	27	12	93
	申請件数(件)	0	0	0	1	1
	申請率	0%	0%	0%	8%	1%
	採択件数(件)	0	0	0	0	0
平成18年度	教員数(人)	30	22	27	12	91
	申請件数(件)	0	0	0	0	0
	申請率	0%	0%	0%	0%	0%
	採択件数(件)	0	0	0	0	0

【年次別科学研究費新規採択件数(研究種目別)】

区分 (科学研究費)		特定領域研究	萌芽研究	若手研究B	基盤研究A	基盤研究B	基盤研究C	若手研究 スタートアップ	計
平成15年度	申請件数(件)	0	4	12	0	2	17	0	35
	採択件数(件)	0	1	3	0	0	4	0	8
平成16年度	申請件数(件)	1	3	12	0	5	15	0	36
	採択件数(件)	0	1	4	0	1	7	0	13
平成17年度	申請件数(件)	0	5	9	0	3	14	0	31
	採択件数(件)	0	1	1	0	0	4	0	6
平成18年度	申請件数(件)	0	5	8	0	8	15	3	39
	採択件数(件)	0	1	5	0	2	2	0	10

区分 (研究成果公開促進費)		研究成果 公開発表	学術定期 刊行物	学術図書	データ ベース	計
平成17年度	申請件数(件)	0	0	1	0	1
	採択件数(件)	0	0	0	0	0
平成18年度	申請件数(件)	0	0	0	0	0
	採択件数(件)	0	0	0	0	0

(2) 奨学寄附金受入状況(※ 平成15年度から実施)

H15	寄附を受けた者			金額(円)	寄 附 者	研 究 題 目
1	—	学 長	青山 英康	¥4,500,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	¥500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
3	社会福祉学部	助教授	住友 雄資	¥590,000	(財)三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合計		3件		¥5,590,000		

H16	寄附を受けた者			金額(円)	寄 附 者	研 究 題 目
1	—	学 長	青山 英康	¥17,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	—	学 長	青山 英康	¥1,000,000	高知女子大学教職員組合	高知女子大学における教育研究の奨励
3	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	¥500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
4	生活科学部	教 授	佐藤 厚	¥300,000	有限会社 創友	ラットを用いた界面活性剤の皮膚炎症の実験
5	生活科学部	助 手	川口 順子	¥300,000	財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について
6	社会福祉学部	助教授	住友 雄資	¥210,000	(財)三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合計		6件		¥2,327,000		

H17	寄附を受けた者			金額(円)	寄 附 者	研 究 題 目
	実績なし					
合計		0件		¥0		

H18	寄附を受けた者	金額(円)	寄 附 者	研 究 題 目
	実績なし			
合計	0件	¥0		

3 学長特別枠助成事業の状況

【学長特別枠助成事業実績(平成18年度)】

事業名	No.	代表者			研究題目	助成費 (千円)
		学部	職名	氏名		
国際研究活動	1	生活科学部	教 授	大久保茂男	不安定な複合粒子散乱における相互作用の研究	300
	2	生活科学部	教 授	大村 誠	欧州とのリモートセンシング研究交流(国際研究)及び海外で学んだ日本人のキャリア形成調査(教育改善)	300
	3	生活科学部	教 授	荻沼 一男	スリランカ(民主社会主義共和国)固有被子植物群の基礎遺伝学的研究(2)	300
	4	生活科学部	教 授	佐藤 厚	本学とブラジルの国際協力プロジェクト-Dr.Lucy Sayuri Ito(M.D.):University of Sao-Pauro,Public Health School,の招聘	300
	5	生活科学部	助教授	團野 哲也	Fluorescence Quenching of Poly(3-octylthiophene) upon Electrochemical Doping ポリ(3 - オクチルチオフェン)の電気化学的ドーピングにおける蛍光消光	300
	6	生活科学部	助教授	松本 由香	米国テキスタイル学会(Textile Society of America)の2006年シンポジウムでの研究発表(研究テーマは、The History and the Present of a Traditional Textile of Okinawa,Japan-A Narrative of the People in Miyako Island and "Miyako-Johu"Textile -「沖縄の伝統染織の歴史と現在 - 宮古島の人々と宮古上布の文脈について -」)	300
	7	生活科学部	助教授	松本 由香	インドネシア・スマトラ島、バンダ・アチェにある国立大学シャー・クアラ大学研究者招聘による本学での生活文化・生活環境についてのセミナー開催	300
	8	生活科学部	講 師	高橋 孝子	「栄養・食生活の現状と栄養士制度の日韓比較」	300
	9	文化学部	助教授	高西 成介	国際交流促進事業(エルムズ大学 学期留学生受け入れ)	208
	10	文化学部	助教授	青木 淳	フィールド実習 第2回 空のかなたの教室 イタリア	300
		小 計			10件	2,908
地域貢献推進	11	生活科学部	教 授	笠原 賀子	「昭和小学校における生活習慣病予防のための食育推進活動」	506
	12	生活科学部	教 授	佐藤 厚	安芸市・室戸市周辺住民を対象とした、運動継続による慢性疾患リスクの減少及び医療費削減へとつなげる「健康づくり」の共同研究	316
	13	生活科学部	教 授	佐藤 厚	沖の島での健康づくり・生きがいづくり	470
	14	生活科学部	助教授	松本 由香	土佐和紙の歴史と生活デザインへの展開についての研究	107
	15	生活科学部	助教授	松本 由香	高知県におけるユニバーサル・ファッションの推進についての研究	150
	16	生活科学部	助 手	堀内 和美	高知県宿毛市沖の島における植生及び固有植物調査	450
	17	文化学部	教 授	松本 茂章	「四万十川国際音楽祭と中村交響楽団の研究 / シンポジウムの開催」	330
	18	文化学部	助教授	青木 淳	須崎市の文化財に関する悉皆調査	500
	19	文化学部	助教授	清原 泰治	「高知県内の統合型地域スポーツクラブの設立・活動支援」	80
	20	文化学部	助教授	橋尾 直和	焼畑の復元による中山間地域・流域圏の活性化	342
		小 計			10件	3,251

事業名	No.	代表者			研究題目	助成費 (千円)
		学部	職名	氏名		
学内教育改善	21	生活科学部	教 授	井本 正人	本学におけるE-Learningの試行的実験	500
	22	生活科学部	教 授	佐藤 厚	大学院学生の国際的研究活動サポート	300
	23	生活科学部	教 授	野並 芳樹	ヒトの酸化ストレス度に及ぼす抗酸化食飲料の有用性についての検索	1,323
	24	生活科学部	助教授	松本 由香	日本の伝統衣文化体験実習～浴衣を着てみよう～	60
	25	生活科学部	助教授	草間かおる	「実践栄養学の基礎と応用に係る管理栄養士養成教育の充実」	250
	26	生活科学部	助 手	本村めぐみ	若い成人におけるシチズンシップ獲得に関する研究 - 大学にみる「社会人学生」の自律意識の形成プロセスとの関連において -	100
	27	看護学部	教 授	藤田 佐和	大学改革を見据えた看護教員の教育能力開発と開発プログラムの作成	281
	28	文化学部	教 授	田中きよむ	「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー in 高知」	350
		小 計			8件	3,164
産学連携研究	29	生活科学部	教 授	佐藤 厚	学内施設予約システムの開発(高村客員教授)	195
	30	生活科学部	教 授	佐藤 厚	呼吸時における胸郭周径のリアルタイム測定機器の開発	600
	31	生活科学部	講 師	川口 順子	ホンダとの連携による新ショールームの空間デザインの提案	300
	32	文化学部	教 授	住友 弘一	講演会 音楽は心の架け橋 - 心身ともに健康な共生社会を願って -	75
	33	文化学部	教 授	松本 茂章	「学会事務局運営の助成費」	100
	34	文化学部	助教授	青木 淳	四国遍路道の世界遺産の登録に関する学術データベースの構築並びに公開講座等の開催事業	1,304
		小 計			6件	2,574
その他	35	文化学部	助教授	清原 泰治	広報季刊誌発行	4,000
		小 計			1件	4,000
合 計					35件	15,897

【年次別学長特別枠助成事業実績】

事業名	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	採択件数	金 額	採択件数	金 額	採択件数	金 額
国際研究活動	7件	1,989千円	12件	3,961千円	10件	2,908千円
地域貢献推進	16	6,300	12	4,349	10	3,251
学内教育改善	9	2,591	16	7,601	8	3,164
産学連携研究	3	2,620	3	1,585	6	2,574
その他	-	-	1	242	1	4,000
計	35	13,500	44	17,738	35	15,897

11 キャンパス

1 土 地

区 分	所 在 地	面 積(m ²)
校舎敷地	高知市永国寺町5番15号	11,313.00
校舎敷地	高知市永国寺町6番28号	3,115.98
校舎敷地	高知市池2751-1	31,586.00
集団給食実習室敷地 運動場敷地	高知市永国寺町2番25号	7,406.00
運動場敷地	高知市池2532-2	9,620.00
多目的広場・大学駐車場	高知市池2469-1	23,963.00
学生寮教職員宿舎敷地	高知市東石立町17番2号	2,653.00
学長公舎敷地(18年度中に売却)	高知市南久万字長田190番4号	458.00
瀬戸教職員宿舎敷地	高知市瀬戸西町3丁目132.140.141番地	627.12
東城山教員宿舎敷地	高知市東城山町字西川原田124番3	828.41
池教員宿舎敷地	高知市池2160-1	3,226.00
朝倉教員宿舎敷地	高知市朝倉本町1丁目210-3	281.00
鴨部教員宿舎敷地	高知市鴨部1258-1	568.51
その他(法面等)	高知市池2155-1 ほか	9,957.00
計		105,603.02

2 建 物

区 分	所 在 地	面 積(m ²)
校 舎	高知市永国寺町5番15号	6,631.48
図書館	"	1,401.48
自転車置場	"	44.10
講堂兼体育館	"	1,237.54
南校舎	高知市永国寺町6番28号	3,213.96
自転車置場	"	134.00
学生会館	"	1,434.85
校 舎	高知市池2751-1	12,565.89
体育館	"	3,337.16
自転車置場	"	262.50
集団給食実習室	高知市永国寺町2番25号	247.50
部室・器具庫等	"	129.48
弓道場	"	49.25
グラウンド内トイレ等	高知市池2751-1	67.20
学生寮	高知市東石立町17番2号	1,173.02
教職員宿舎	"	684.48
"	高知市東城山町西川原田124番3号	746.76
学長公舎(18年度中に売却)	高知市南久万字長田190番4号	117.47
瀬戸教職員宿舎	高知市瀬戸西町3丁目132.140.141番地	317.52
朝倉教員宿舎	高知市鴨部1258-1	134.02
鴨部教員宿舎	高知市鴨部1258-1	278.60
池教員宿舎	高知市池2160-10	1,116.19
計		35,324.45

高知県立

高知女子大学

〒780-8515 高知県高知市永国寺町 5 番 15 号

TEL 088-873-2156 (代表)

FAX 088-873-3934

<http://www.kochi-wu.ac.jp/>